SATOC

ST300R シリーズ

取扱説明書

SATOC

株式会社サトー

はじめに

このたびは、当社バーコードプリンタSATOC ST300Rシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。本書は、はじめてST300Rシリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。
本書をよくお読みいただき、ST300Rシリーズの機能を理解し、正しくお使いください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店・ディーラーへご連絡ください。
4. 本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

無線LAN仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意
本製品は、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
・ 本製品を分解／改造すること
・ 本製品に貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと
次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。
電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線LAN機器の近辺。

無線LANインタフェースをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従っておこなってください。

2.4DS/OF4

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DSSS および OFDM
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

初版　　2008年10月
第4版　2013年12月　Q02465003

目次

安全上のご注意

この取扱説明書では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は「しなければならないないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は、差込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警告	
	不安定な場所に置かない ・ ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。
 	水などの入った容器を置かない ・ プリンタの周辺に花びん、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 	内部に異物を入れない ・ プリンタの開口部（ケーブルの出口やインタフェースボード取付口など）から金属物や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	指定以外の電圧は使用しない ・ 指定された電源電圧(AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。
 	必ずアース線を接続してください ・ 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。
 	電源コードの取り扱いについて ・ 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
  	落としたり、破損したときは ・ プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 警告	
	異常な状態で使用しない ・ 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。
	分解しないでください ・ プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。
	カッタについて ・ カッタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。
	プリンタ清掃液の取り扱いについて ・ プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。 ・ お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
	オプションケーブルや簡易入力装置 Key-Bo の接続について ・ オプションのケーブルや簡易入力装置 Key-Bo をプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源を OFF にしてからおこなってください。 ・ 電源を ON にしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。

注意	
	湿度が高い場所に置かない ・ プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源をOFFにして、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因になります。
 	持ち運び ・ 移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、おこなってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。 ・ 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。 ・ プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。
  	電源 ・ 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
  	電源コード ・ 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。 ・ 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因になります。 ・ 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。
	カバー ・ カバーの開閉には、指を挟まないように注意してください。 また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持ってください。
 	サーマルヘッド ・ 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃をおこなうときには、火傷をしないように注意してください。 ・ サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意をしてください。 ・ お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

⚠注意	
	サーマルヘッドの開閉 ・ サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意してください。ケガ、破損の原因になります。
	用紙のセット ・ ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意してください。
	長期間ご使用にならないとき ・ プリンタをご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れ・清掃のとき ・ プリンタのお手入れや清掃をおこなうときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

設置および取り扱い上の注意

次のことに注意して、本プリンタの設置・取り扱いをおこなってください。

設置場所について

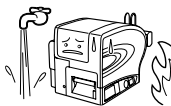
次のことに注意して、本プリンタを設置してください。

水平な場所に置いてください。

凸凹があったり斜めになっている場所に設置すると、きれいな印字ができません。故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

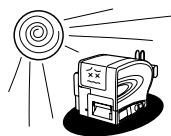
振動のある場所に置かないでください。

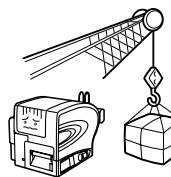
振動のある場所に設置するときれいな印字ができないことがあります。ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

高温・多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度･湿度が高い場所は故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

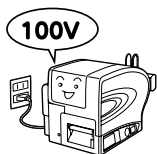
ほこりを避けて使用してください。

ほこりの多い場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。
故障の原因になり、プリンタの寿命を短くするおそれがあります。

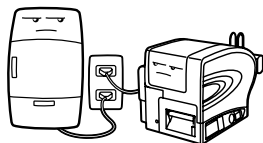
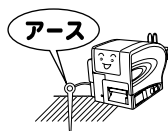
直射日光の当たる場所を避けて使用してください。

本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤動作を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。

クレーンやプレス機などのそばに置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本プリンタの誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。

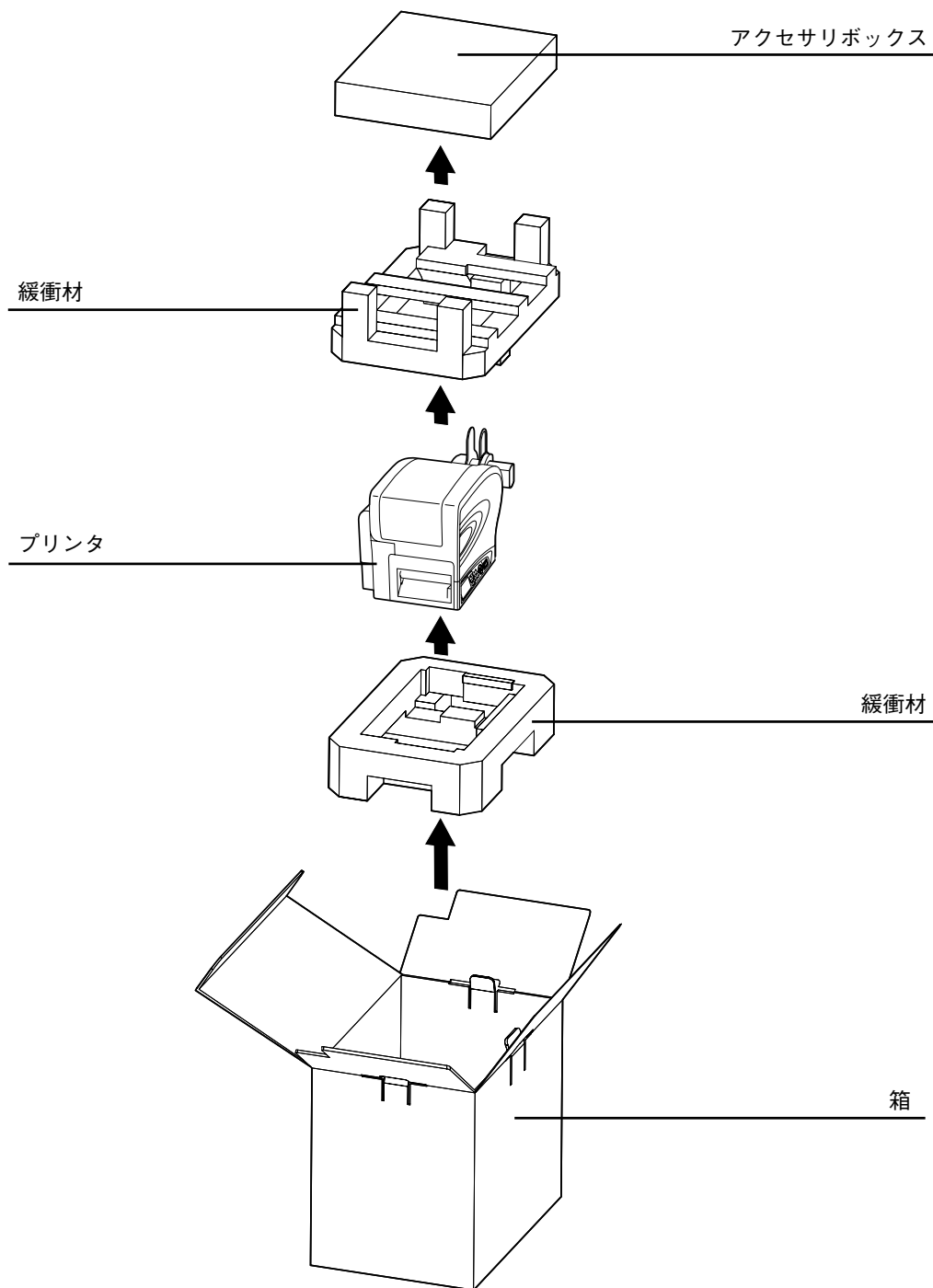
電源について

本プリンタは、AC100Vの交流電源が必要です。

必ずAC100Vの交流電源につないでください。本プリンタの誤動作や故障のおそれがあります。

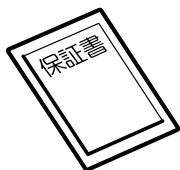
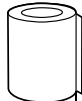
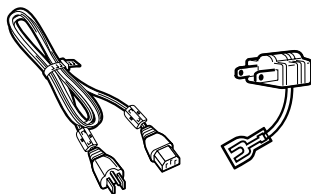
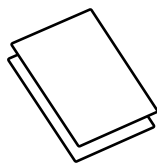
電源の低下などの変動が少ないコンセントから電源を供給してください。

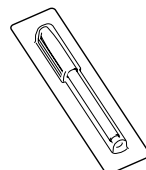
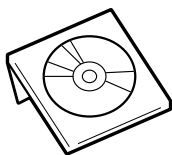
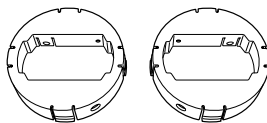
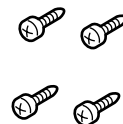
ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じコンセントや、その近くのコンセントから電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。

必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。

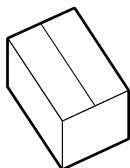
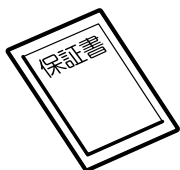
1. 箱から出しましょう

本プリンタを箱から出して設置します。

※ 緩衝材（プリンタ押さえのクッション）の形状が一部異なる場合があります。

付属品の確認

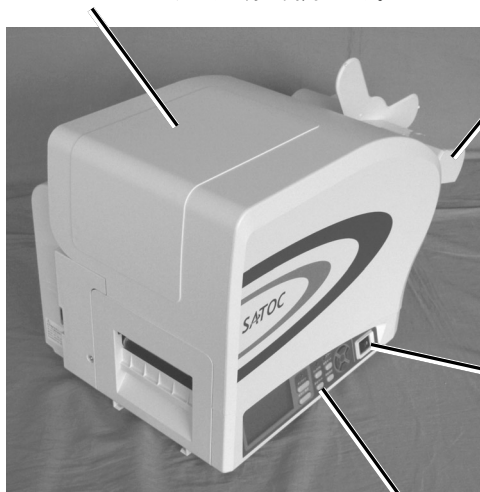
箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入した販売店・ディーラーまでお問い合わせください。

保証書

テスト用リボン

電源コードと
3 極 -2 極変換アダプタ

メンテナンス案内書

取扱説明書（本書）と
セットアップガイド

クリーニングペン

アクセサリ CD-ROM

ボス（4 インチ
コア用アダプタ）2 個

ネジ（ボス固定用）4 本

保証書と梱包箱について

本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、付属の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。

また、本プリンタを梱包していた箱と緩衝材（プリンタ押えのクッション）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただきます。

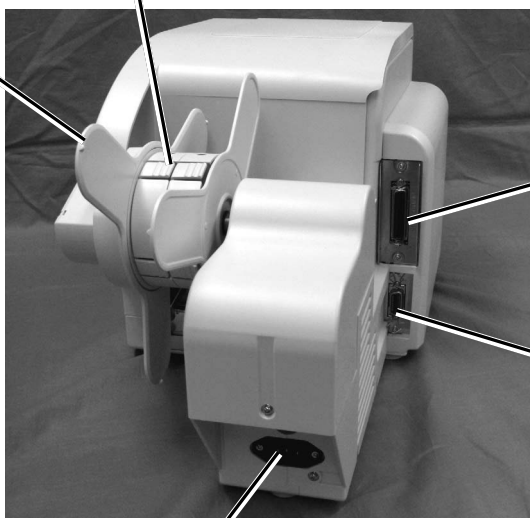
2. 各部の名称

カバー
用紙・カーボンリボンなどをセットする際に開閉します。

ロール紙供給部
ロール紙をセットします。

電源スイッチ
電源をON／OFFします。

操作パネル
プリンタを操作します。ディスプレイ、LED（3個）、キー（10個）からなります（47ページ）。

前面

ボス（4インチコア用アダプタ）
付属品として同梱されています。

インタフェーススロット
オプションのインタフェーススロットです。コンピュータなどに接続するときに使用します（42ページ）。

EXTコネクタ端子
外部信号インタフェースコネクタです。

AC入力電源端子
電源ケーブルを接続します。

背面

リボン巻取リール
カーボンリボンを
直接巻き取ります。

リボンフィードローラー

カバー

プラテンローラー
用紙を送ります。定期的にお手入
れしてください（消耗品）。

カットセンサゲージ
ラベルおよび各種タグに合わせて、
カットセンサの位置合せをおこないま
す（28 ページ）。

ロール紙押さえ

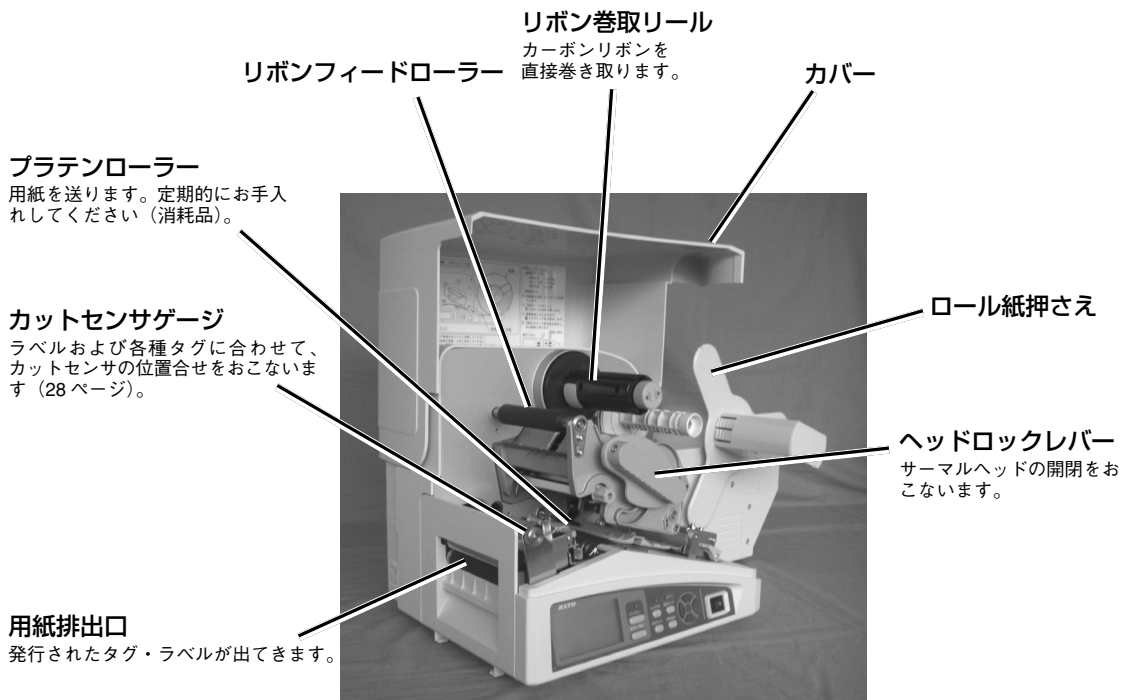
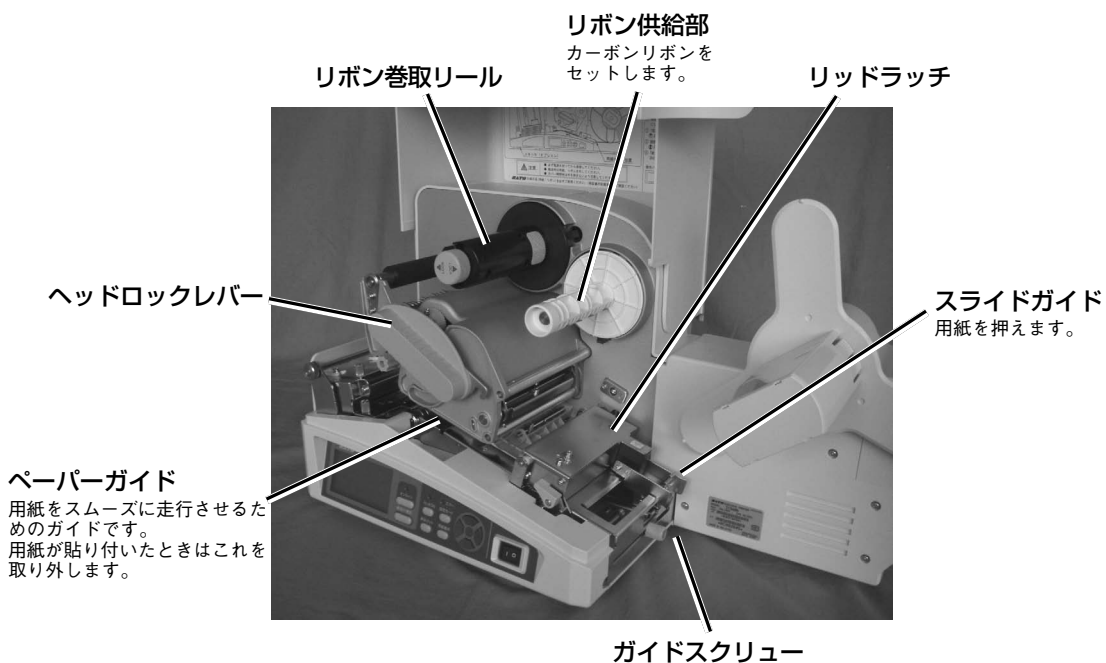
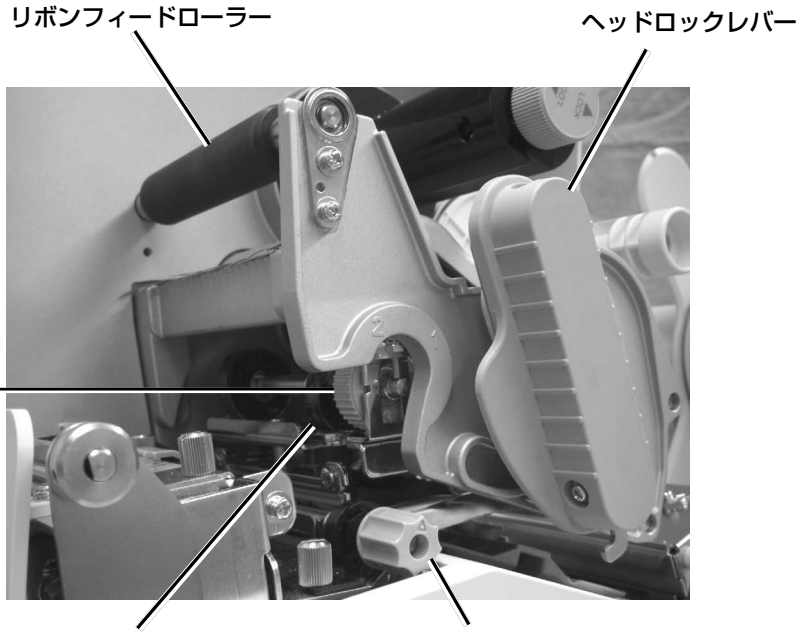
ヘッドロックレバー
サーマルヘッドの開閉をお
こないます。

用紙排出口
発行されたタグ・ラベルが出てきます。

内部

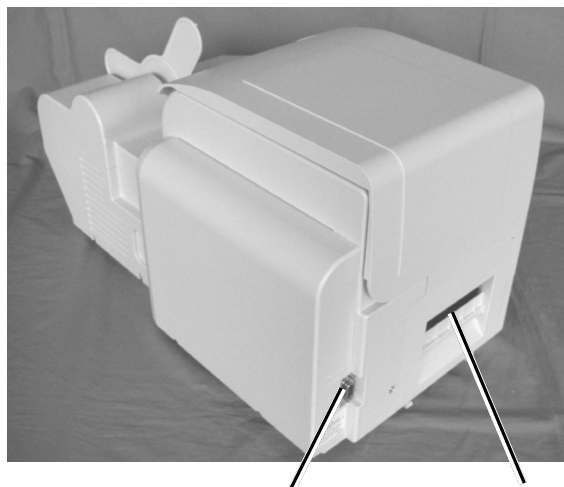
内部

リボンフィードローラー

ヘッドロックレバー

ヘッド圧ダイヤル
ヘッド圧を調整するダイヤルです（16ページ）。

サーマルヘッド
用紙に印字する部分です。定期的にお手入れをしてください（消耗品）。

タグ / ラベルヘッド対向切換ダイヤル
セットする用紙に合わせて印字品質を調整するダイヤルです（28ページ）。

内部

簡易入力装置Key-Bo接続端子*
オプションの簡易入力装置Key-Boを接続します。

用紙排出口
発行されたタグ・ラベルが出てきます。

背面

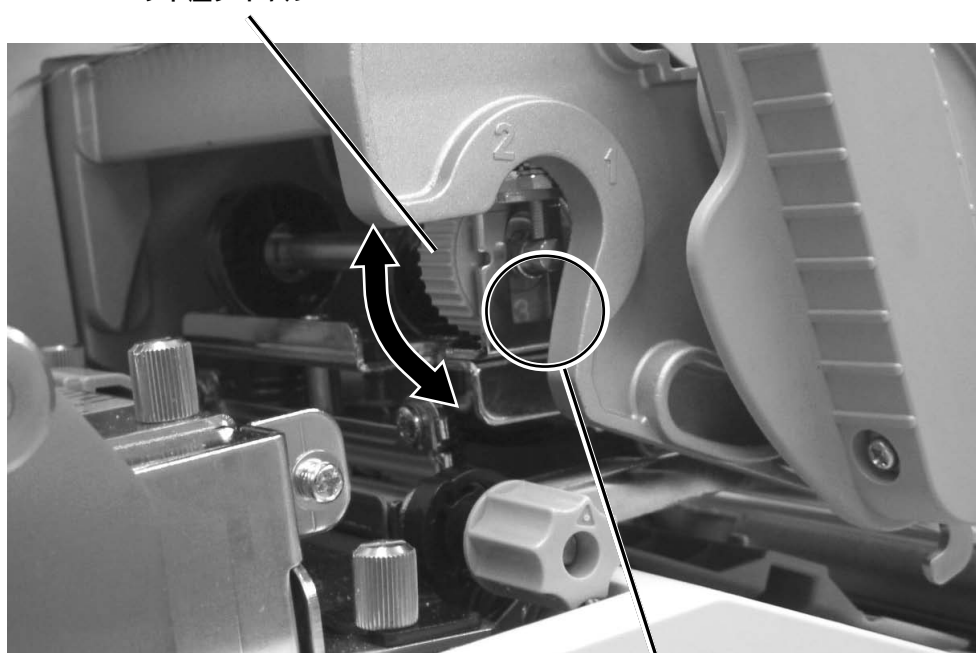
＊ 簡易入力装置Key-Bo専用となります。コンピュータなどとのRS-232C通信はできませんので、Key-Bo以外は絶対に接続しないでください。

ヘッド圧の調整

本プリンタは基本的に無調整できれいに印字されるように調整していますが、使用される用紙の幅によってはきれいに印字されない場合があります。

その場合は以下の表を参考に、用紙幅に合わせて、サーマルヘッドを開いた状態でヘッド圧ダイヤルを回してヘッド圧を調整してください。

ヘッド圧ダイヤルの目盛り	用紙幅
1	25〜50mm
2	50〜70mm
3	70〜83mm

ヘッド圧ダイヤル

目盛り

ヘッド圧ダイヤルの目盛りは用紙幅に対する目安のため、用紙厚によって異なることがあります。きれいに印刷されている場合は調整しないでください。

3. 電源を入れてみましょう

電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コードを接続する

⚠ 警告

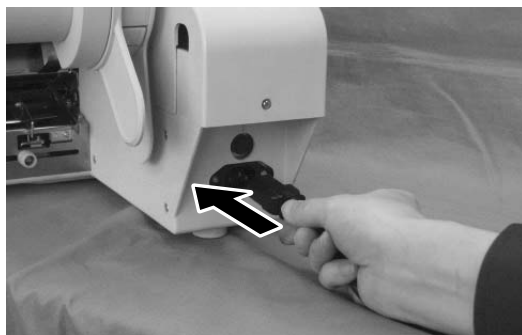
- **必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。**
- **濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。**

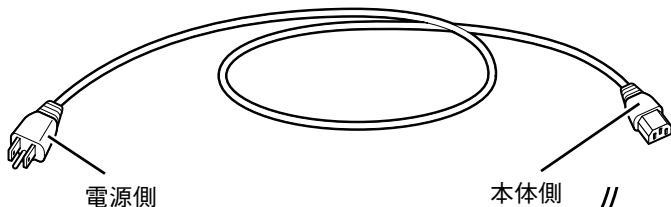
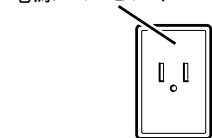
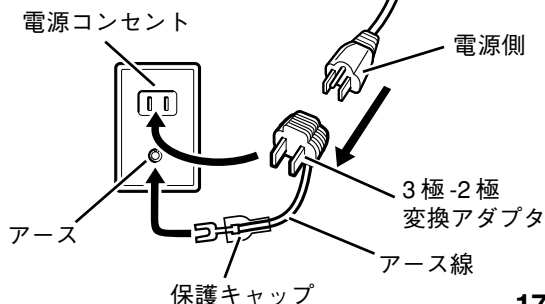
⚠ 注意

本プリンタに付属の電源コードと３極 -２極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

❶ **プリンタ右側の AC 入力電源端子に電源コードを接続します。**

差し込む向きを確認してください。

プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。

❷ **電源コンセントに電源コードを差し込みます。**

付属の電源コードの差込みプラグの形は、３極タイプになっています。３本の足のうち１本がアース線になっています。
ご使用の電源コンセントが３極タイプの場合はそのまま電源コードを差し込んでください。

電源コンセントが２極タイプの場合は、付属の３極-２極変換アダプタを使い、右図のように必ずアース線を接続してください。
３極-２極変換アダプタの保護キャップを外し、アース線をアース端子に接続してから差し込みプラグを接続してください。

インタフェースケーブルを接続する

お選びいただいたオプションによってインタフェースは異なります。
それぞれの規格に適応したケーブルをご使用ください。

- USB インタフェースボード
- RS-232C インタフェースボード
- パラレル（IEEE1284）インタフェースボード
- LAN インタフェースボード
- 無線 LAN インタフェースボード

差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。

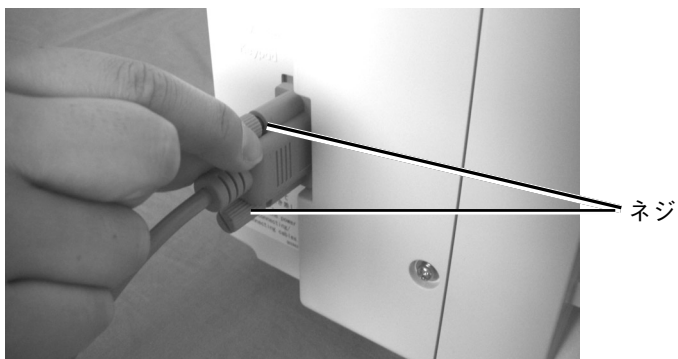
簡易入力装置 Key-Bo を接続する

オプションの簡易入力装置 Key-Bo を接続します。

❶ **プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。**

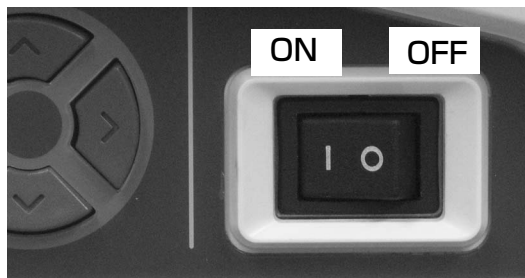
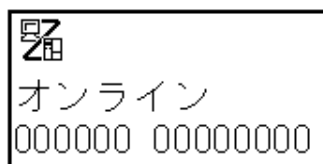
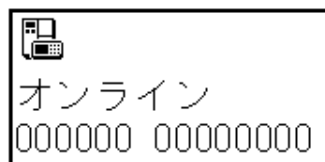
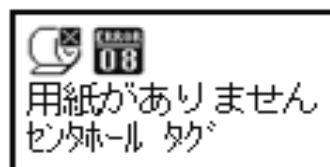
❷ **プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。**

コネクタの差し込む向きを確認してください。

❸ **コネクタにある 2 つのネジを指で回して固定してください。**

電源を入れてみる

⚠ 警告

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

プリンタ本体前面の電源スイッチをONにします。
「｜」と書いてある側を押してください。

電源スイッチをONにするとディスプレイに「オンライン」と表示します。

簡易入力装置Key-Bo接続時はアイコンの表示（左上）がKey-Boに変わります。

用紙がセットされていない場合は「用紙がありません」が表示されます。そのときは用紙をセットしてください。

今までにおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「オンライン」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは「あれ？どうしたのかな？」（109ページ）をご覧になり、準備をし直してください。

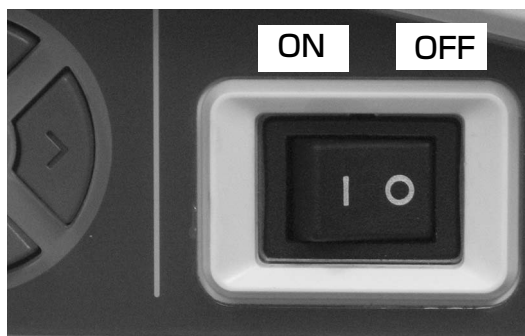
電源を切る

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

❶ **用紙をセットして印字をおこなった後は 排出カット キーを押し、プリンタの内部に残っている印字済みの用紙を排出します。**

内部に印字済み用紙が残っていない場合、排出カット キーを押しても排出カット動作はおこないません。

❷ **プリンタ本体前面の電源スイッチを OFF にします。**

「○」と書いてある側を押してください。

4. カーボンリボンのセット

サトー“純正”カーボンリボンのご使用をお願いします。

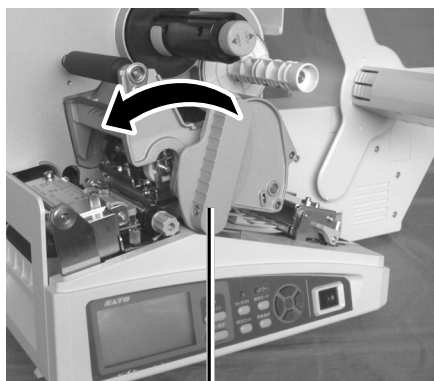
カーボンリボンのセット

❶ カバーを開けます。

❷ 紫色のヘッドロックレバーを反時計回りに回転させます。

サーマルヘッドが開きます。

⚠ 注意

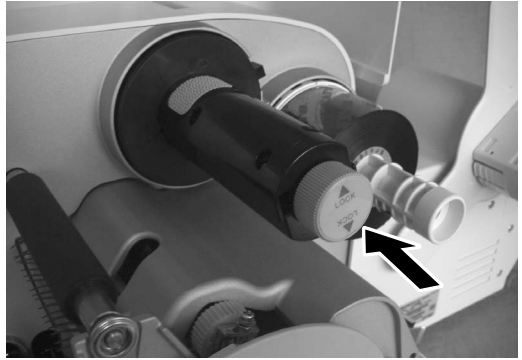
ヘッドロックレバー開閉時には、手を挟まないようご注意ください。

ロックレバー

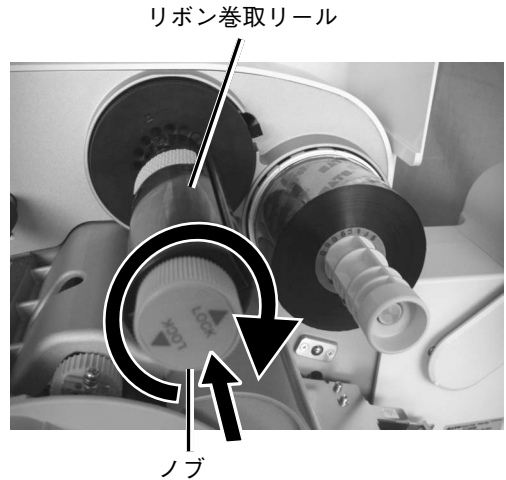
❸ プリンタ内部にある保護シートを取り除きます。

（購入後、はじめてお使いになるときは、プリンタ内部に保護シートがセットされています。）

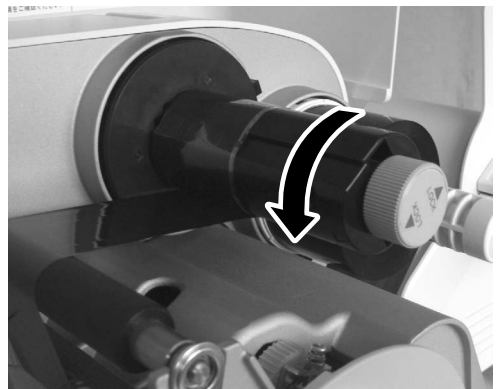
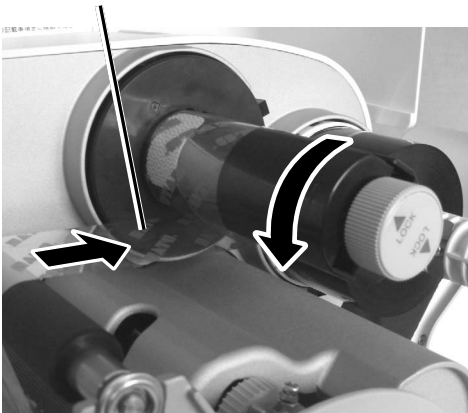
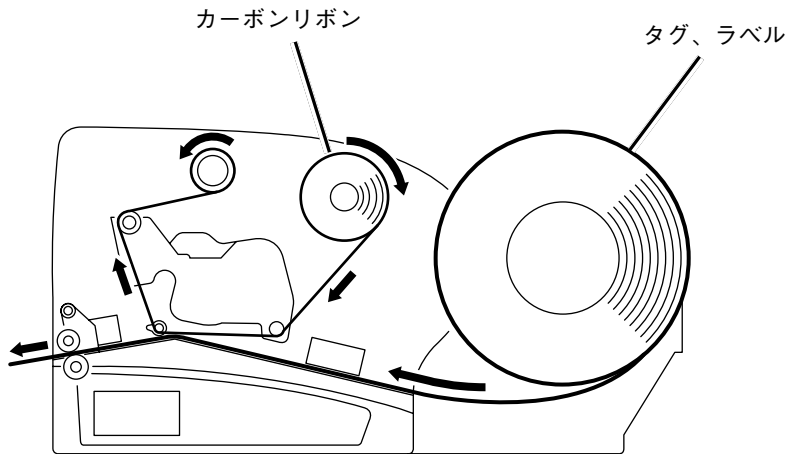
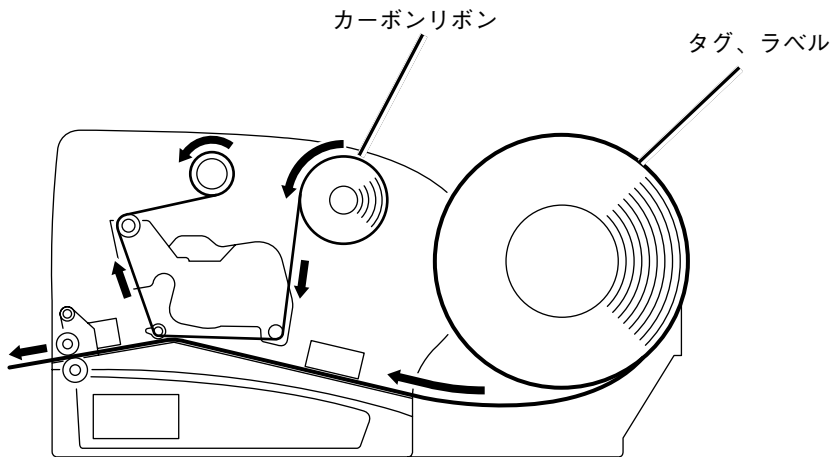
保護シート

❹ **カーボンリボンの留めテープを外し、リボン供給部にカーボンリボンを入れます。**

巻き方向に注意して、奥まで入れてください（23 ページのイラストを参考にしてください）。

❺ **リボン巻取リールがシャフトに固定されていることを確認します。**

もし固定されていない場合はリボン巻取リールを奥に突き当てて、紫色のノブを時計方向に回転させて固定します。

❻ **カーボンリボンをリボン供給部からサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取リールへ通します。**

リボン巻取リールの奥側にカーボンリボンを合わせ、数回矢印の方向へ巻取ります。リボンにしわがなくなるまで巻き取ってください。

※ リボンの端はリボン巻取リールの滑り止め部分を利用して留めます。シールやテープなどの糊を使って固定しないでください。

下図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。

外巻きリボンの場合（標準）

内巻きリボンの場合

⚠ 注意

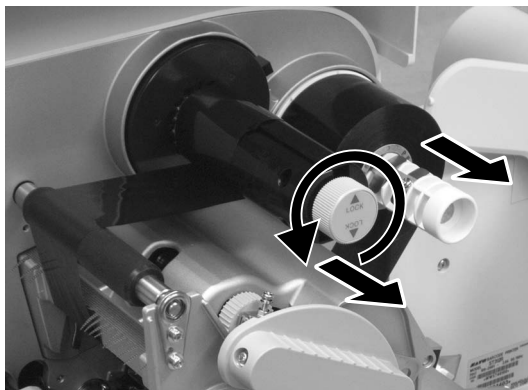
- **印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意しておこなってください。**
- **サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。**

以上でカーボンリボンのセットは完了です。

カーボンリボンの取り外し

供給側のカーボンリボンはそのまま矢印の方向に抜き取ってください。

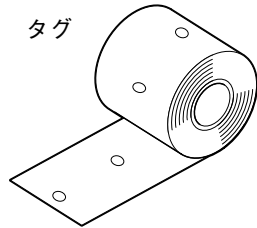
巻取側のカーボンリボンは紫色のノブを反時計方向に回転させてリボン巻取部のロックを外してから抜き取ってください。

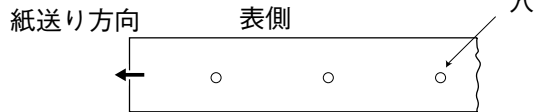
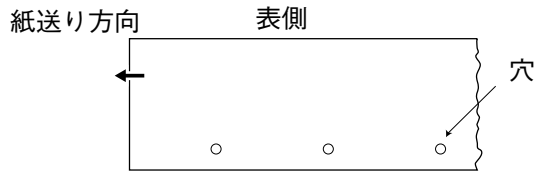
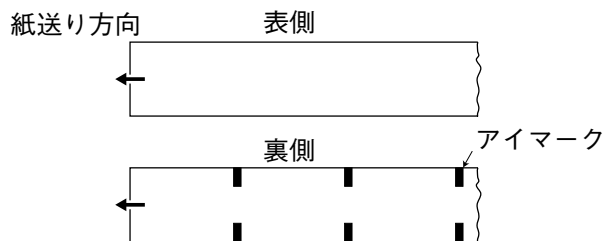
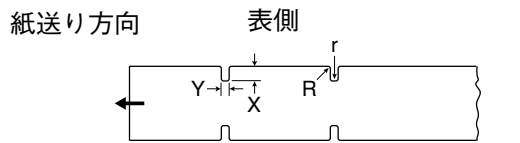
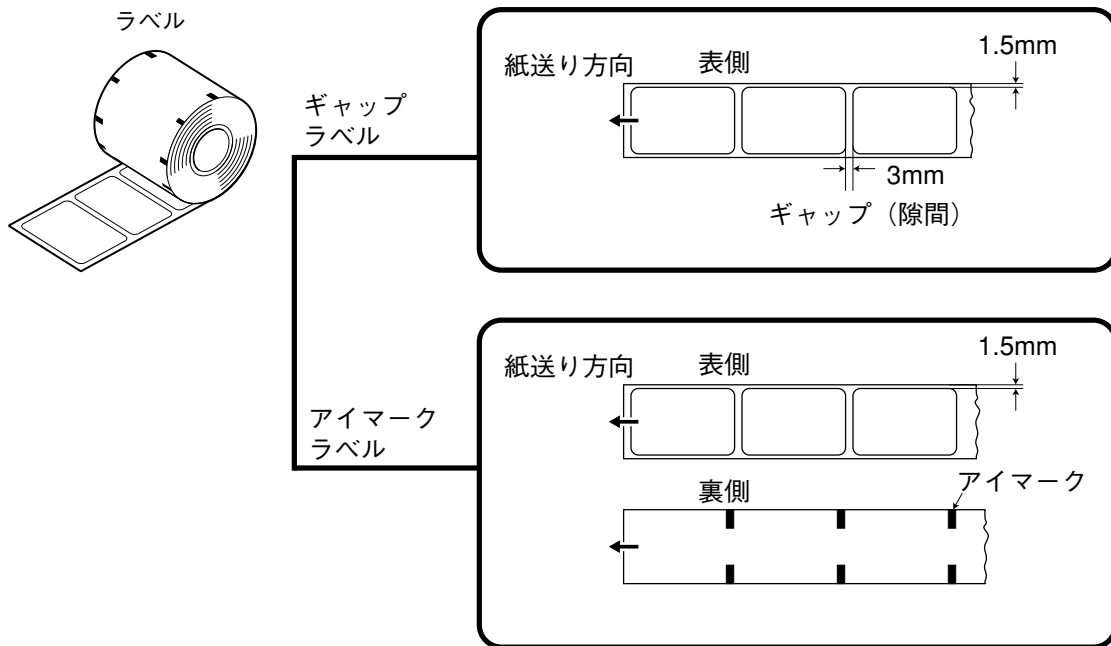
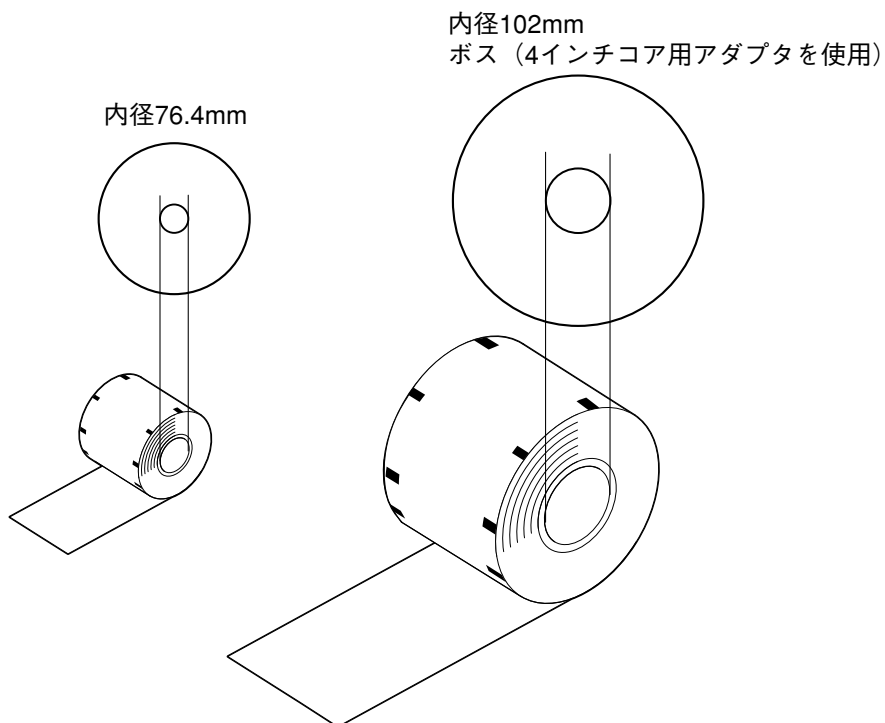
抜き取ったカーボンリボンを再セットする際は、巻取側のカーボンリボンをカットしてから取り付けてください。

⚠ 注意

- カーボンリボン１巻ごとに、巻き取ったカーボンリボンを必ず取り除いてください。
- カーボンリボンを取り除く際、手がインクで汚れる場合があります。

5. 用紙の種類

本プリンタはタグ４種類、ラベル２種類の合計６種類の用紙タイプを使用できます。また「センサ禁止」モードでアイマーク、ホール、エッジのないラベル / タグを使用できます。

サトー“純正”用紙のご使用をお願いします。

5

用紙の種類

本プリンタは２種類の支管タイプに対応しています。
支管タイプ：3 インチタイプ（76.4mm）、4 インチタイプ（102mm）
用紙外径：ラベル / タグ　最大 250mm（内径 102mm のとき）

6. 用紙のセット

本プリンタは内径 76.4mm と 102mm のロール紙に対応しています。
内径 102mm のロール紙をセットする場合は付属のボス、ネジとドライバをご用意ください。

用紙のセット

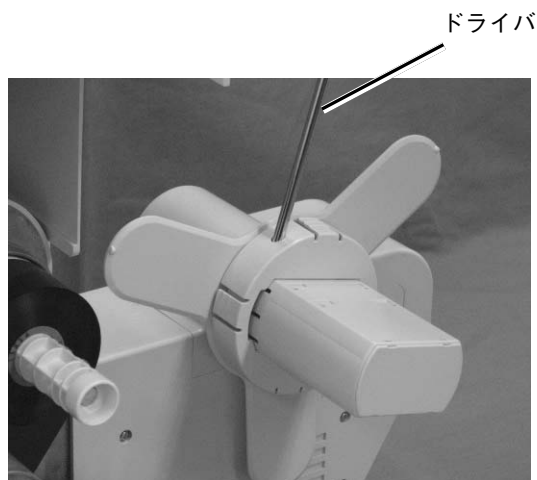
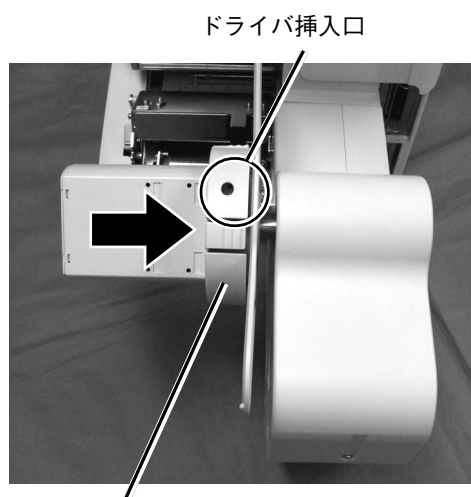
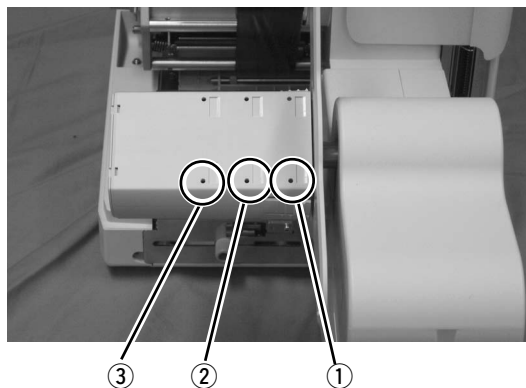
内径 76.4mm のロール紙をセットする場合は手順 2 からスタートしてください。

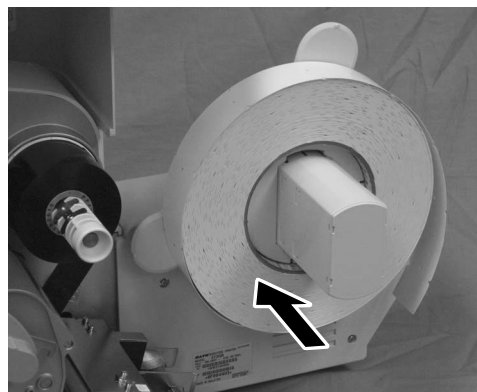
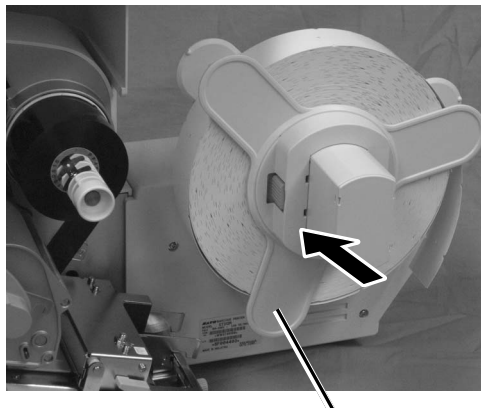
❶ **ボス（4 インチコア用アダプタ）の取り付け位置目安表を参考にボスを取り付け、ネジで固定します。**

用紙幅	ボスの数	ボスの取り付け位置
50mm未満	1個	取付穴①
50〜75mm	2個	取付穴①、②
75〜83mm	2個	取付穴①、③

ドライバ挿入口

ボス

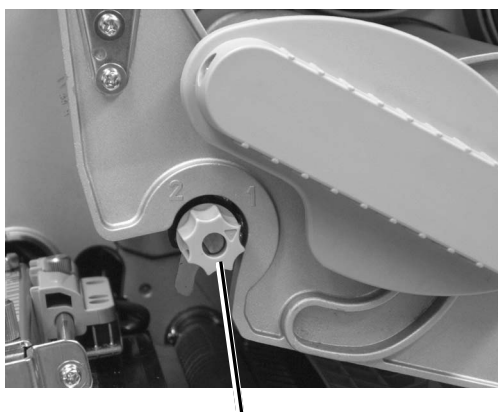
ドライバ

❷ **用紙を供給側にセットします。**

奥に突き当たるまでしっかりと入れてください。

❸ **ツマミを押しながらロール紙押さえをセットします。**

ロール紙押さえ

❹ **セットする用紙に合わせて、タグ/ラベルヘッド対向切換ダイヤルを“1”または“2”にセットします。**

“1”（右側）：タグ / ラベル兼用（通常）

“2”（左側）：ラベル（高印字品質）

通常は“1”で使用します。ヘッドを必ずオープンにしてからセットしてください。

タグ / ラベルヘッド対向切換ダイヤル

❺ **センタホールタグまたは横ホールタグを使用する場合は、カットセンサの位置を用紙の幅に合わせてカットセンサゲージの所定位置に調整します。**

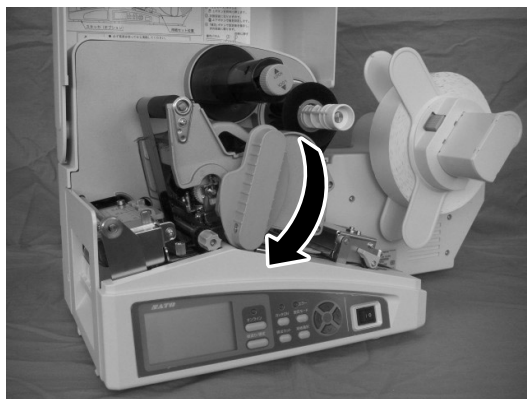
それ以外の用紙（ラベル / エッジタグ / アイマークタグ）をセットする場合は一番奥の位置に調整します。

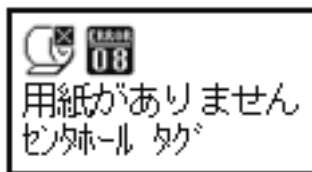
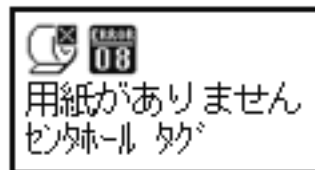
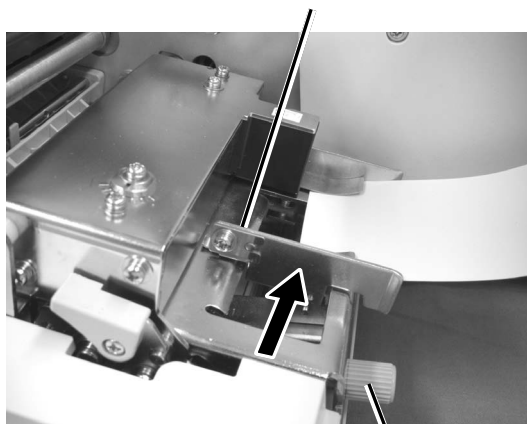
調整ネジをゆるめ、カットセンサゲージの目盛りに合わせてカットセンサを動かして調整ネジを締めます（中央の爪にゲージの目盛りを合わせます）。

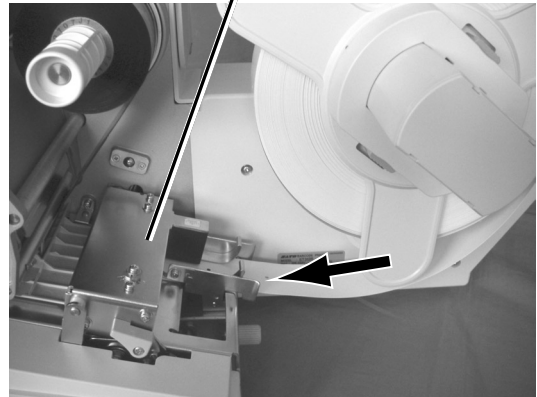
調整ネジ　カットセンサ　カットセンサゲージ

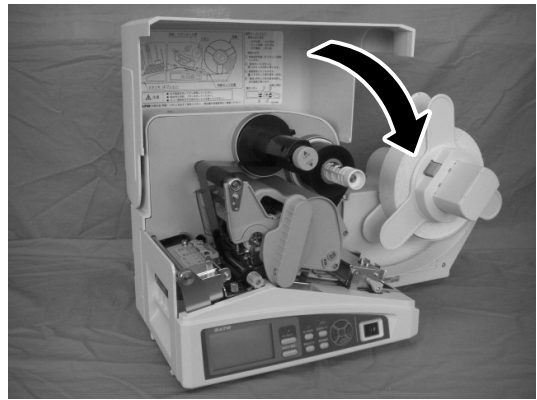
爪（合わせ位置）

❻ **ヘッドロックレバーを時計方向に回してロックします。**

> ⚠ **注意**
>
> ヘッドロックレバー開閉時には、手を挟まないようご注意ください。

❼ **電源を入れます。**

ディスプレイに「用紙がありません」が表示します。

❽ **セットしたい用紙がディスプレイに表示されるまで [用紙選択] キーを押します。**

❾ **スライドガイドを用紙の幅に合わせ、ガイドスクリューで固定します。**

⑩ **リッドラッチが閉まっていることを確認し、リッドラッチの下に用紙を差し込みます。**

用紙が自動的に引き込まれ始めたら手を放してください。

⑪ **用紙が自動的に給紙され、用紙が止まったらカバーを閉じます。**

自動給紙機能や先頭無駄なし機能については31ページをご覧ください。

以上で用紙のセットは完了です。

自動給紙機能

自動給紙機能とは用紙を本プリンタにセットする際、検知した用紙を自動でヘッド位置まで搬送する機能です。

プリンタ内部に用紙が残っていないことを確認してから使用してください。

自動給紙機能はサーマルヘッドおよびリッドラッチ開閉後のオフライン状態のときにリッドラッチ部に用紙を挿入することで用紙を検知して自動給紙動作をおこないます。

サーマルヘッドおよびリッドラッチを開閉して手動で用紙をセット後、オンライン キーや 紙送り/確定 キーを押した場合は、用紙位置合せのための紙送り動作となり、自動給紙動作とは異なる動作となります。

先頭無駄なし機能

自動給紙をおこなうことにより、先頭のタグ/ラベルを無駄にすることなくヘッド位置まで搬送し、印字することができます。

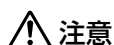
自動給紙により先頭無駄なし機能が可能なタグ/ラベル最大用紙長さ（台紙を含む）を下表に記します。

用紙種類	先頭無駄なし機能が可能な最大用紙長さ
センタホールタグ	140mm
アイマークタグ/ラベル	65mm
横ホールタグ	200mm
エッジタグ	65mm
ギャップラベル	70mm

※ 上記サイズは各用紙種類の初期値でご使用いただく場合の最大用紙長さです。
※ 上記サイズ以上の場合や印字位置補正をおこなった場合、自動給紙は可能ですが、先頭に位置合せ用のタグ/ラベルが排出されます。

オプション装着時のセット

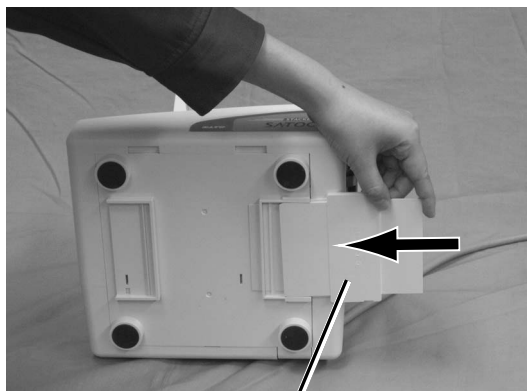
オプションユニットには、用途によって選べる以下のタイプがあります。ご購入いただいたユニットに対応した説明をご覧ください。

⚠ 注意

セットは必ず電源を切ってからおこなってください。

スタッカ装着時のセット

スタッカはカットされたタグを積み重ねるオプションです。小型スタッカが使用できるタグの長さは25～80mm、大型スタッカは25～150mmです。最大積載高さは150mmです（紙厚0.26mmのタグが約500枚）。

ここでは大型スタッカを例に説明します。小型スタッカの場合、❻～❾は省略してください。

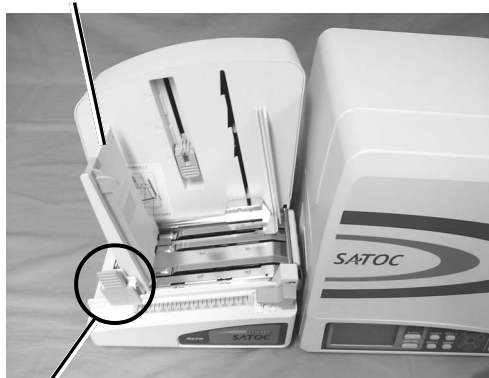
❶ **スタッカ底面に接続プレートを差し込みます。「STACKER」の表示がある方がスタッカ底面の方を向くように差し込んでください。**

接続プレート

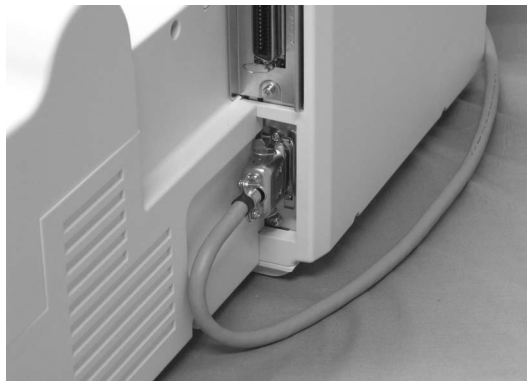
❷ **スタッカとプリンタを組み合わせます。**

プリンタ本体の底面のガイドに合わせ、接続プレートを差し込みます。

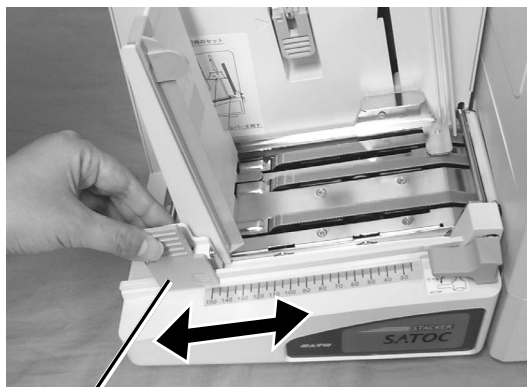
接続プレートがプリンタ本体に確実に挿入されるようセットしてください。

タグストッパーはスタッカ本体の溝に片方の爪を差し込んでから前後位置調整クリップをつまんで固定してください。

タグストッパー

前後位置調整クリップ

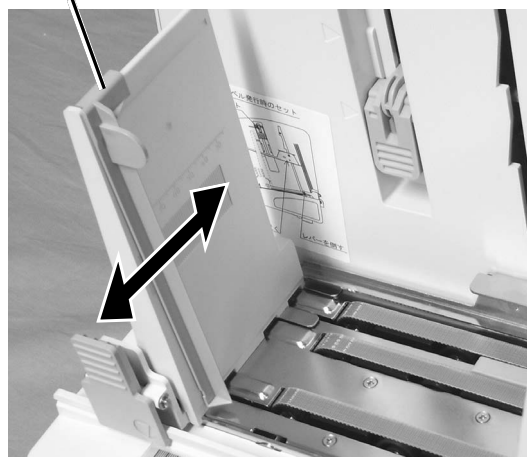
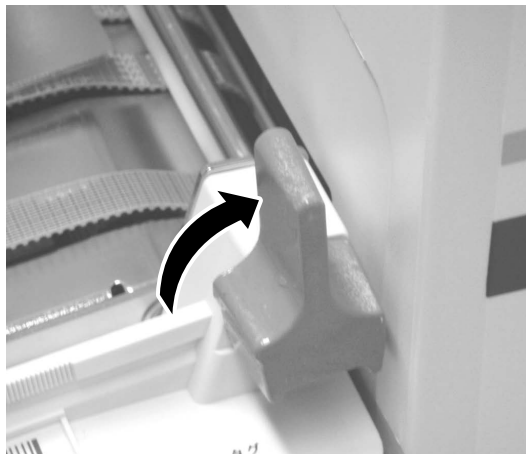
❸ **スタッカのインタフェースケーブルをプリンタのEXTコネクタ端子に接続します。**

❹ **タグの長さに合わせてタグストッパーの位置を調整します。**

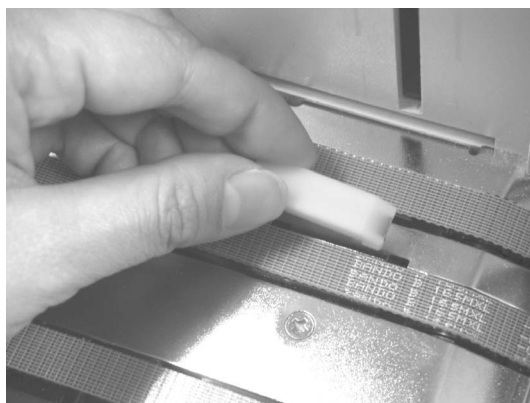
前後位置調整クリップの矢印マークをタグの長さの位置に合わせます。

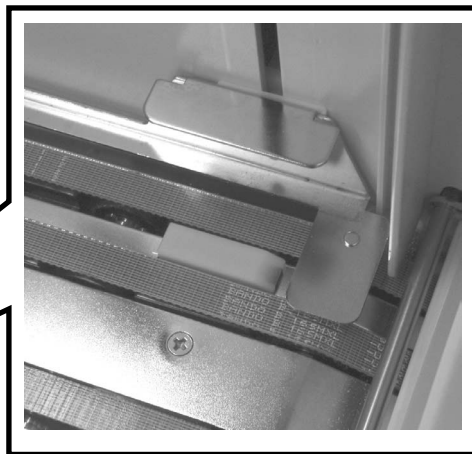
タグストッパーは前後位置調整クリップをつまみながら動かしてください。

前後位置調整クリップ

❺ **タグの幅に合わせてタグガイドの位置を調整します。**

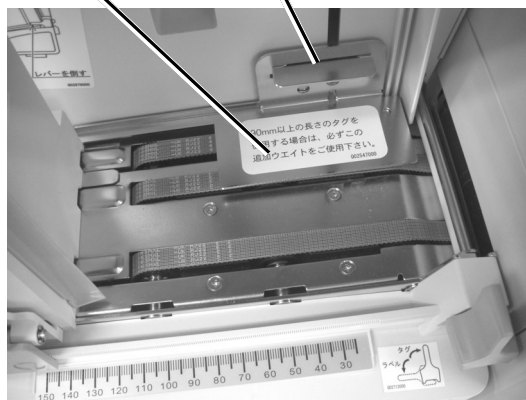
タグガイドの内側を用紙の幅に合わせてください。

タグガイド

❻ **タグ / ラベル通紙ルート切換ダイヤルを右側「タグ」にセットします。（大型スタッカのみ）**

❼ **大型スタッカで 90mm 以上のラミネートタグまたはニス引きのタグを使用する場合は、スタッカにスペーサー* を取り付けてください。**

右図のように指でスペーサーをつまみ、スタッカの溝に差し込みます。

* スペーサー
（大型スタッカ STS300 の付属品）

スペーサーの取り付け位置は下図のようになります。

❽ **用紙押さえを一番下の位置にセットします。**

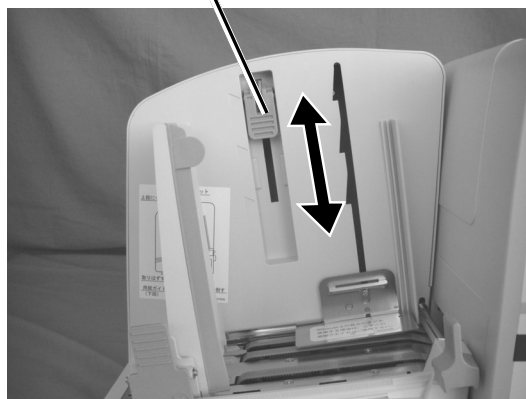
大型スタッカで90mm以上の長さのタグを使用する場合は、必ず追加ウエイトを使用してください。

追加ウエイトを使用する場合は、用紙押さえの突起部に追加ウエイトの溝をセットして、上に載せてください。

❾ **大型スタッカの場合は、最大積み高さ調整レバーを動かして、スタックフルとなる位置を設定します。**

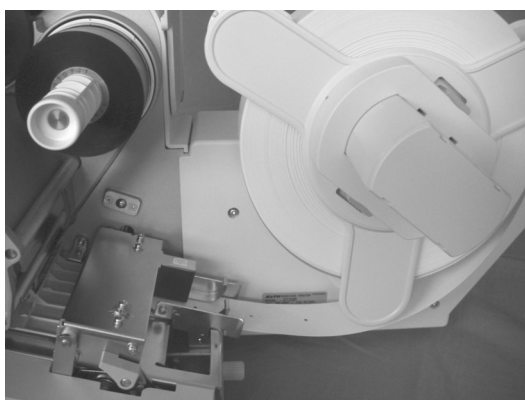
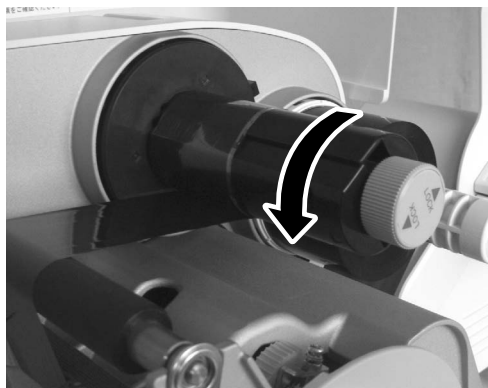
（大型スタッカのみ）

なお、90mm以上のラミネートタグおよびニス引きのタグ、RFIDタグを使用する場合は、最大積み高さ調整レバーを最下段にしてください。

レバーセット位置	スタックフルの枚数（参考）
上段	約500枚
中段	約375枚
下段	約250枚

※ 上記枚数はタグ厚み0.26mmを使用する場合です。なお、材料やタグの反り状態によって枚数は異なります。

⑩ **電源を入れます。**

⑪ **カバーを開け、ロール紙とカーボンリボンをセットします。**

カーボンリボンのセットは「カーボンリボンのセット」（21 ページ）をご覧ください。
用紙のセットは「用紙のセット」（27 ページ）をご覧ください。

⑫ **カッタON LEDが点灯していることを確認します。**

カッタON LEDが点灯しないときは一度オフラインにして カッタON キーを押してください。

なお、オンライン状態では カッタON キーは操作できません。

⑬ **プリンタがオンライン状態であることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合は オンライン キーを押してください。

以上でスタッカ装着時のセットは完了です。

使用上の注意

- 先頭無駄なし機能が可能な最大用紙長を超える用紙の場合、かつ、位置補正が入った場合、位置合わせ用の用紙が排出されますので、取り除いてからスタッカを使用してください。
- タグを取り出すときは用紙押さえをスタックフル（35 ページ）の位置まで上げてください。
- 積み上げたタグが崩れないように注意して取り出してください。
- 長さが短いタグを取り出すときはタグストッパーを傾けてください。
- 印字ズレ、カットズレが生じた場合は調整モード操作（50 ページ）での調整が可能です。

巻取機（RWS300）装着時のセット

巻取機は印字済みのラベルを巻き取るオプションです。ラベル巻取機が使用できるラベルの幅は 22 ～ 80mm（台紙幅：25 ～ 83mm）です。巻取長さは約 100m（最大長さ）、巻取外径は 150mm（最大外径）です（ただし材質により異なることがあります）。

⚠ 注意

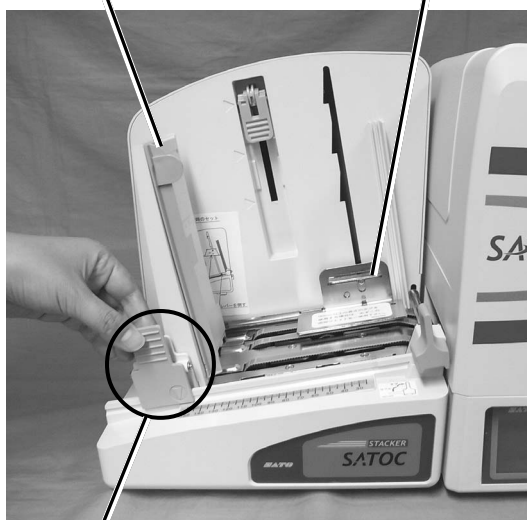
セットは必ず電源を切ってからおこなってください。

巻取機はタグには対応しておりません。必ずラベルをご使用ください。

ラベル巻取機は本体に直接取り付けることもスタッカとの併用も可能です。以下の手順はスタッカを取り付けたままラベル巻取機にラベルをセットする方法を説明します。

❶ **前後位置調整クリップをつまみながらスタッカからタグストッパーを取り外します。**

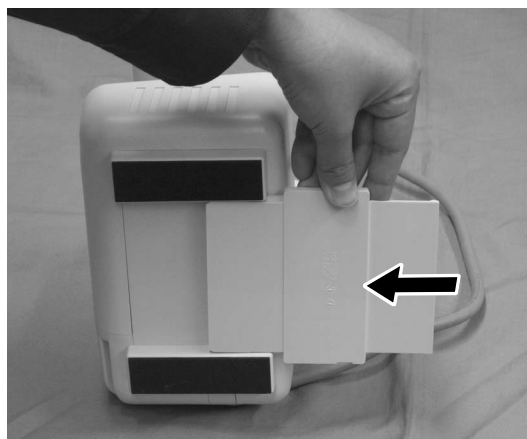
❷ **追加ウエイトを装着している場合は、追加ウエイトも取り外します。**

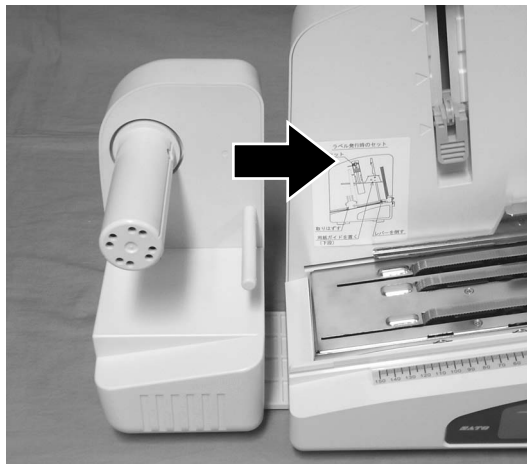
タグストッパー　追加ウエイト

前後位置調整クリップ

❸ **ラベル巻取機の底面に接続プレートを差し込みます。「REWINDER」の表示がある方がラベル巻取機の底面を向くように差し込んでください。**

接続プレートには下記の 2 種類があります。

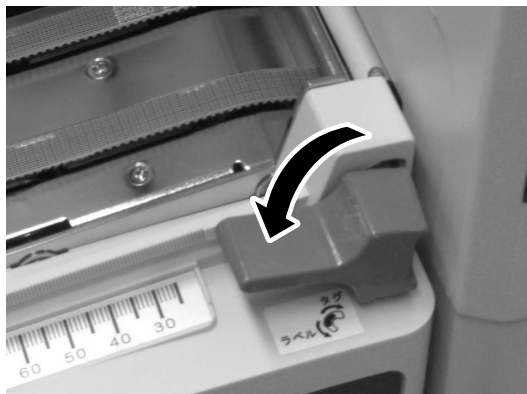
接続する機器によって使い分けてください。

・プリンタ本体 － ラベル巻取機用
・スタッカ － ラベル巻取機用

❹ **ラベル巻取機とスタッカ、プリンタを組み合わせます。**

スタッカ本体の底面のガイドに合わせ、接続プレートを差し込みます。

❺ **ラベル巻取機のインタフェースケーブルをスタッカのEXTコネクタ端子に接続します。**

スタッカを使わず、プリンタを直接接続するときは、プリンタのEXTコネクタ端子に接続します。

❻ **スタッカのタグ / ラベル通紙ルート切換ダイヤルを左側「ラベル」にセットします。**

※ この手順は大型スタッカを併用しているときのみ必要です。

❼ **スタッカの用紙押さえを写真のように引き上げてセットします。**
また、最大積み高さ調整レバーを動かして、上段に設定します(大型スタッカのみ)。

※ 大型スタッカの場合は、用紙押さえを中段または下段にセットしてください。小型スタッカの場合は、用紙押さえを中段にセットしてください。

※ 大型スタッカの場合は、用紙押さえを最大積み高さ調整レバーと同じ高さに、小型スタッカの場合は、上段にセットするとスタックフルエラーになります。

❽ **電源を入れます。**

❾ **カバーを開け、ロール紙とカーボンリボンをセットします。**

カーボンリボンのセットは「カーボンリボンのセット」(21 ページ)をご覧ください。

用紙のセットは「用紙のセット」(27 ページ)をご覧ください。

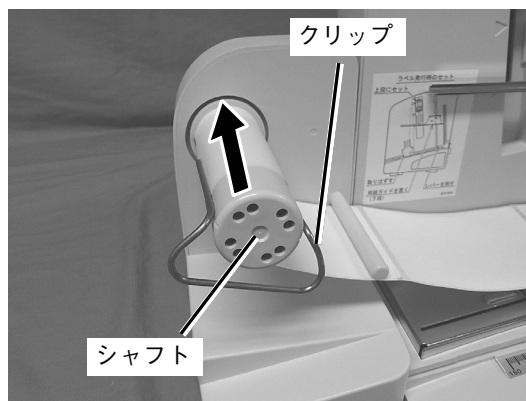
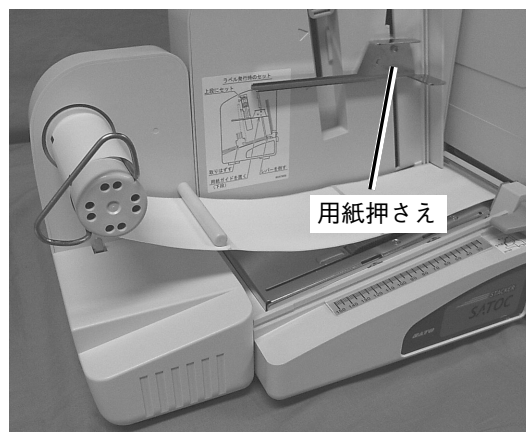
❿ **カッタON LEDが消灯していることを確認します。**

カッタON LEDが点灯しているときは一度オフラインにして カッタON キーを押してください。

なお、オンライン状態では カッタ ON キーは操作できません。

⓫ **オフラインにして 紙送り/確定 キーを何度か押し、ラベルを巻取機の位置まで送ります。**

⓬ ラベルを巻取機のシャフトに時計方向に巻き付け、クリップ(2 箇所)で留めます。

※ 巻き取ったラベルを外すときは、ラベルとクリップを同時に引き抜いてください。

⓭ オフラインにして 紙送り/確定 キーを押し、ラベルが正常に巻き取られることを確認します。

以上で巻取機装着時のセットは完了です。

7. インタフェースボードの設定

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

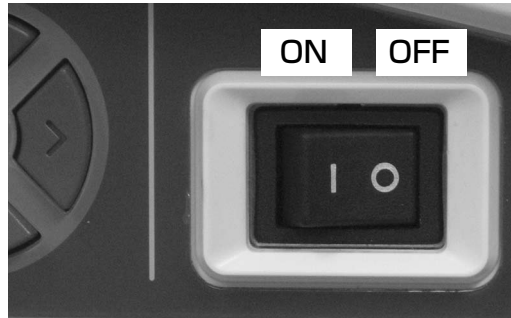
- USB インタフェースボード
- RS-232C インタフェースボード
- パラレル(IEEE1284)インタフェースボード
- LAN インタフェースボード
- 無線 LAN インタフェースボード

このうち、RS-232Cインタフェースボードには通信条件を決めるディップスイッチ、LANインタフェースボードには保守用のディップスイッチがついています。
通信設定は設定モードメニューとインタフェースボードのどちらでも設定できます（44、45、46、58ページ）。
ディップスイッチを設定する際は、インタフェースボードを外してください。
本項では、ディップスイッチの設定変更について説明をします。

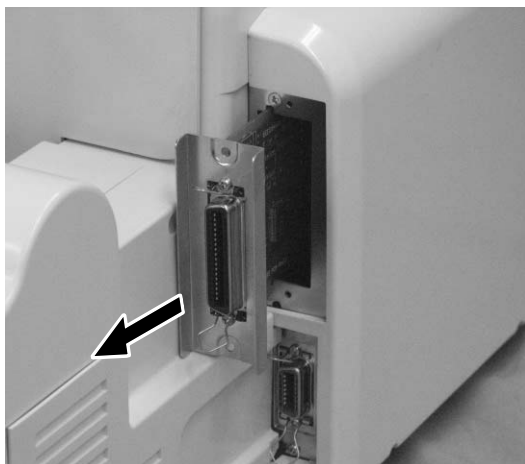
インタフェースボードの取り外し

パラレル（IEEE1284）インタフェースボードを例に説明していますが、その他のインタフェースボードでも同じ手順となります。

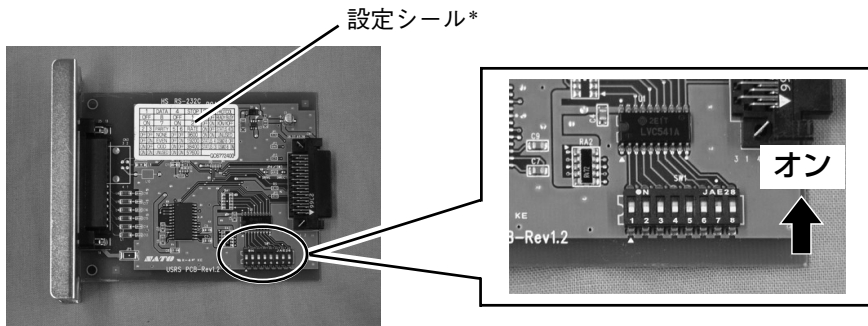
> ⚠ **注意**
> **インタフェースボードの取り付け・取り外しをおこなうときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってからおこなってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損するおそれがあります。**

❶ **プリンタの電源を OFF にします。**

❷ **プリンタのインタフェースボードに接続されているインタフェースケーブルを取り外します。**

❸ インタフェースボードを固定しているネジ２本を外します。

❹ インタフェースボードを引き抜きます。

❺ 設定後はインタフェースボードを元の位置に差し込み、ネジで固定してください。

取り付けのときは、インタフェースボードを傷つけないよう注意してください。

RS-232C インタフェースボードの設定

SATOC　ST300Rシリーズ　RS-232Cインタフェースボード　ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	データ長設定	ＯＮ　：7ビット ＯＦＦ：8ビット（初期値）
2 3	パリティビット設定	ＯＦＦ－ＯＦＦ：　無し（初期値） ＯＦＦ－ＯＮ　：　偶数 ＯＮ－ＯＦＦ　：　奇数 ＯＮ－ＯＮ　　：　未使用
4	ストップビット設定	ＯＮ　：2ビット ＯＦＦ：1ビット（初期値）
5 6	ボーレート設定	ＯＦＦ－ＯＦＦ：　9600bps ＯＦＦ－ＯＮ　：　19200bps（初期値） ＯＮ－ＯＦＦ　：　38400bps ＯＮ－ＯＮ　　：　57600bps
7 8	通信プロトコル設定	ＯＦＦ－ＯＦＦ：　READY／BUSY（初期値） ＯＦＦ－ＯＮ　：　XON／XOFF ＯＮ－ＯＦＦ　：　ステータス3 ＯＮ－ＯＮ　　：　ステータス4

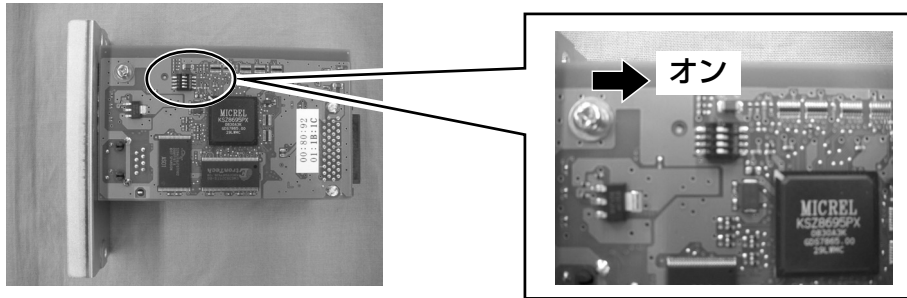
＊ 設定シールの内容ではなく、上記の表にしたがって設定してください。

RS-232Cインタフェースボード/LCDの優先設定はプリンタ本体側の画面操作（通信設定）で設定します（61 ページ）。

RS-232C インタフェースの詳細設定は、プリンタ本体の通信設定で設定してください（61 ページ）。

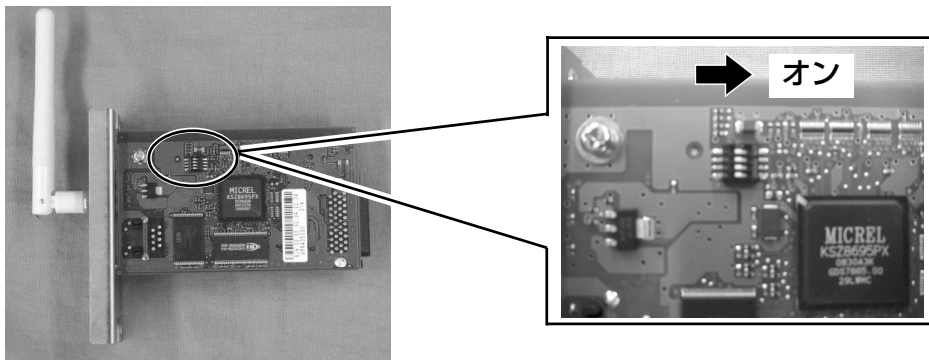
ディップスイッチの設定を変更するときは、プリンタの電源を切ってください。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

LAN インタフェースボードの設定

プリンタを使用する場合は、すべて OFF の設定で使用します。

SATOC　ST300Rシリーズ　LANインタフェースボード　ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	未使用	ＯＦＦ：　初期値
2	LANインタフェースボード設定情報初期化	ＯＮ：有効
		ＯＦＦ：無効（初期値）
3	LANインタフェースボード設定情報印字 （IPアドレスなどの設定情報を印字します）	ＯＮ：有効
		ＯＦＦ：無効（初期値）
4	LANインタフェースボード自己診断印字 （診断結果を印字します）	ＯＮ：有効
		ＯＦＦ：無効（初期値）

ディップスイッチの設定を変更するときは、プリンタの電源を切ってください。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

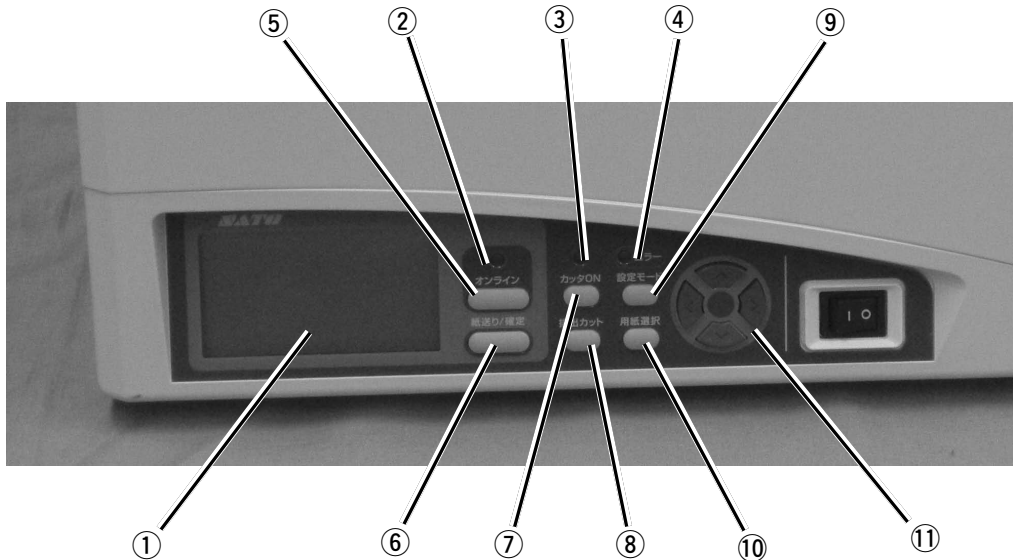
無線 LAN インタフェースボードの設定

ディップスイッチ 1 ～ 3 を OFF の設定で使用します。
プリンタを使用する場合は、ご使用される無線LAN環境によって無線LANモード設定（ディップスイッチ 4）を設定して使用します。

SATOC　ST300Rシリーズ　無線LANインタフェースボード　ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	未使用	ＯＦＦ：　初期値
2	無線LANインタフェースボード設定情報初期化	ＯＮ：有効
		ＯＦＦ：無効（初期値）
3	無線LANインタフェースボード設定情報印字 （IPアドレスなどの設定情報を印字します）	ＯＮ：有効
		ＯＦＦ：無効（初期値）
4	無線LANモード設定	ＯＮ：Infrastructureモード
		ＯＦＦ：Ad Hocモード（初期値）

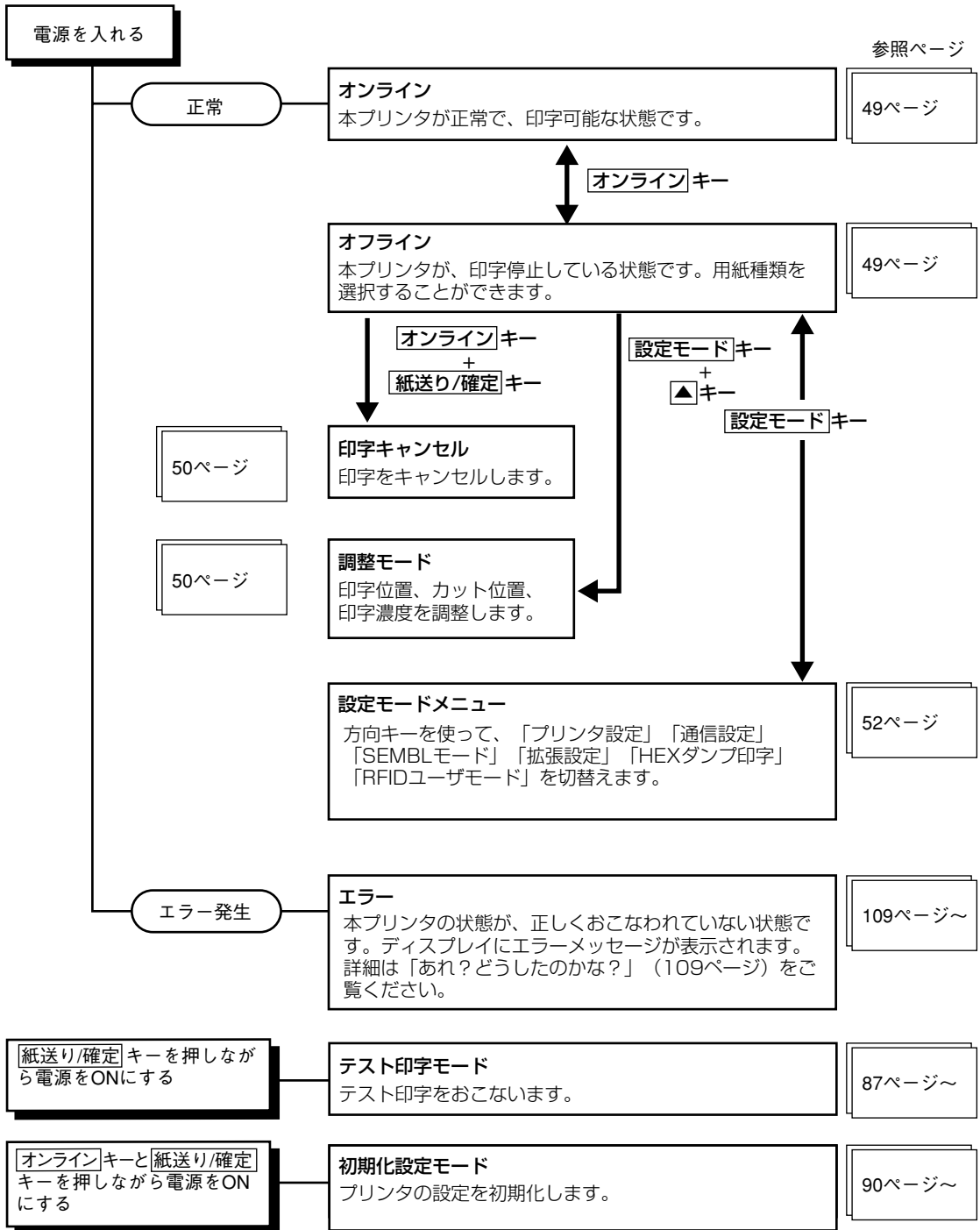
ディップスイッチの設定を変更するときは、プリンタの電源を切ってください。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

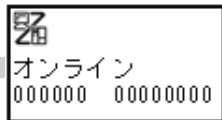
8. 動かしてみましょう

本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を説明します。

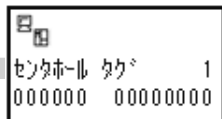
操作パネル部

NO	品名	機能
①	ディスプレイ	各種メッセージを表示します。
②	オンラインLED	緑（点灯）：オンライン状態 点灯なし：オフライン状態
③	カッタON LED	カッタモード時に点灯（緑）します。
④	エラーLED	エラー発生時に点灯または点滅（赤）します。
⑤	オンライン キー	オンライン/オフライン状態を切替えます。また、各種設定モード時は前の設定項目に戻すキーになります。
⑥	紙送り / 確定 キー	オフライン状態で押すと、用紙が一枚送られます。また、各種設定モード時は選択した項目を確定するキーになります。
⑦	カッタ ON キー	カット動作の有効／無効を切替えます。
⑧	排出カット キー	発行後、印字されたタグ/ラベルが内部に残っている場合に印字されたタグ/ラベルをすべて排出します（オンライン状態/オフライン状態共に）。プリンタ内部に残っているタグ/ラベルがないときは何も動作しません。
⑨	設定モード キー	オフライン状態で押すと、設定モードメニューに移動します。 各種設定モードで押すと、設定モードメニューに戻ります。
⑩	用紙選択 キー	オフライン状態で押すと、用紙種類の表示を切替えます。
⑪	▲ ▼ ◀ ▶ キー	各種設定モードでカーソルの移動、設定値の入力をおこないます。

操作の流れ

本プリンタを本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。

詳しい説明

本プリンタの詳しい操作のしかたとディスプレイの表示について説明します。

オンライン操作

本プリンタが正常な状態で、印字可能な状態です。オンライン状態のとき、次の操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせたり、一時停止させたりします。
- オンライン キーを押して、オフライン状態に切替えたり、印字を停止したりすることができます。

オフライン操作

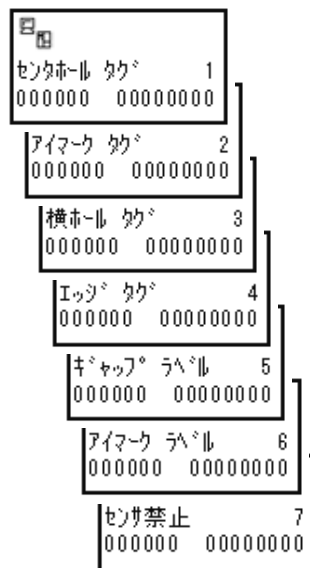
本プリンタが印刷停止している状態です。使用する用紙とセンサを設定できます。

❶ 用紙選択 キーを押して使用する用紙種類（センサ）を選びます。
選択できる用紙とセンサは次のとおりです。

・センタホールタグ
・アイマークタグ
・横ホールタグ
・エッジタグ
・ギャップラベル
・アイマークラベル
・センサ禁止

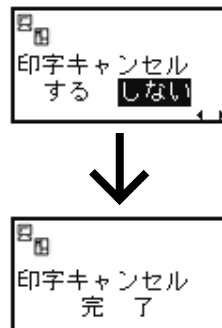
※ 選択した用紙種類によって表示順が変わることがあります。

印刷データが残っている場合（排出されていないタグ含む）用紙選択 キーは操作できません。

❷ オンライン キーを押すと用紙種類を確定し、オンライン画面に戻ります。

発行中の印字データキャンセル操作

発行中に オンライン キーを押すとオフラインになり、発行が一時停止します。
その状態のとき、オンライン キーと 紙送り / 確定 キーを同時に押すと、受信済みの印字データをすべてクリアできます。

❶ ◀ ▶ キーを押して、“する”、”しない”を選びます。

❷ 紙送り / 確定 キーを押して、決定します。
“する”は、完了画面に進み、3秒後にオフライン状態に戻ります。
“しない”は、そのままオフライン状態に戻ります。

調整モード操作

オフライン状態で、設定モード キーと ▲ キーを同時に押すと、調整モードに入ることができます。調整モードでは印字位置、カット位置、印字濃度の調整をおこなうことができます。

設定の登録

各調整モード設定を有効にするためには、設定が終わった後、 紙送り / 確定 キーを１回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。

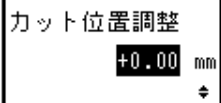
紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーまたは 設定モード キーを押すと、設定値を登録しないでオフライン画面に戻ります。

印字位置調整

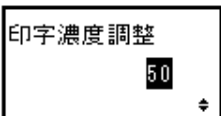
印字位置調整

印字位置を調整します。設定値は 0.25mm 単位で設定できます。

- ▲ ▼ キーを押して、印字位置を調整します。▲ ▼ キーで調整値が増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- オンライン キーまたは 設定モード キーを押すとオフライン状態に戻ります。
- 初期値は、0.00 です。

カット位置調整
+0.00 mm

カット位置調整

カット位置を調整します。設定値は 0.25mm 単位で設定できます。

- ▲ ▼ キーを押して、カット位置を調整します。▲ ▼ キーで調整値が増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- オンライン キーまたは 設定モード キーを押すとオフライン状態に戻ります。
- 初期値は、0.00 です。

印字濃度調整
50

印字濃度調整

プリンタの印字濃度を調整します。

- ▲ ▼ キーを押して、印字濃度を選びます。▲ ▼ キーで調整値が増減します。
- 設定範囲は 00 ～ 99 です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、印字位置調整画面に変わります。
- オンライン キーまたは 設定モード キーを押すとオフライン状態に戻ります。
- 初期値は、50 です。

プリンタ設定操作

オフライン状態のとき、設定モード キーを押すと、プリンタの各種設定をおこなうことができます。ただし印字データが残っているときは設定画面へ移行できません。発行を終了するか、または、印字データキャンセル（50 ページ）をおこなってから設定変更してください。

次のページから詳しい設定方法を説明します。

エラー状態操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します（109 ページ）。

設定モードメニュー

設定モードメニューでの詳しい設定方法を説明します。

❶ オンライン状態から オンライン キーを押して、オフライン状態にします（用紙選択の画面になります）。

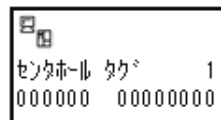
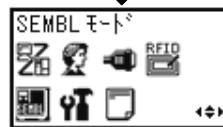
❷ オフライン状態で 設定モード キーを押します。
設定モードメニュー（右図）が表示されます。

❸ 設定モードメニューでは、▲ ▼ ◀ ▶ キーを1回押すごとに、設定する項目が切り替わります（アイコンが反転します）。

❹ 紙送り / 確定 キーで設定する項目を選びます。

❺ 各設定モードで設定をおこないます。

❻ 設定モード キーを押すと、設定モードメニューに戻ります。

❼ 再び 設定モード キーを押すと、オフライン（用紙選択画面）に戻ります。

※ RFID ユーザモードは RFID 仕様機のみ表示されます。

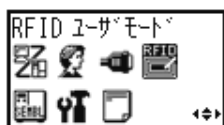
設定モードには次の６つのモードがあります。

- プリンタ設定（54 ページ）
  印字条件の設定をおこないます。以下項目が設定できます。
  - 印字速度設定
  - 印字濃度設定
  - 基点補正
  - ゼロスラッシュ切替設定
  - JIS コード切替設定
  - 漢字書体切替設定
  - プロポーショナルピッチ設定

- 通信設定（58 ページ）
  インタフェースの設定をおこないます。以下項目が設定できます。
  - Key-Bo 接続
  - 通信設定

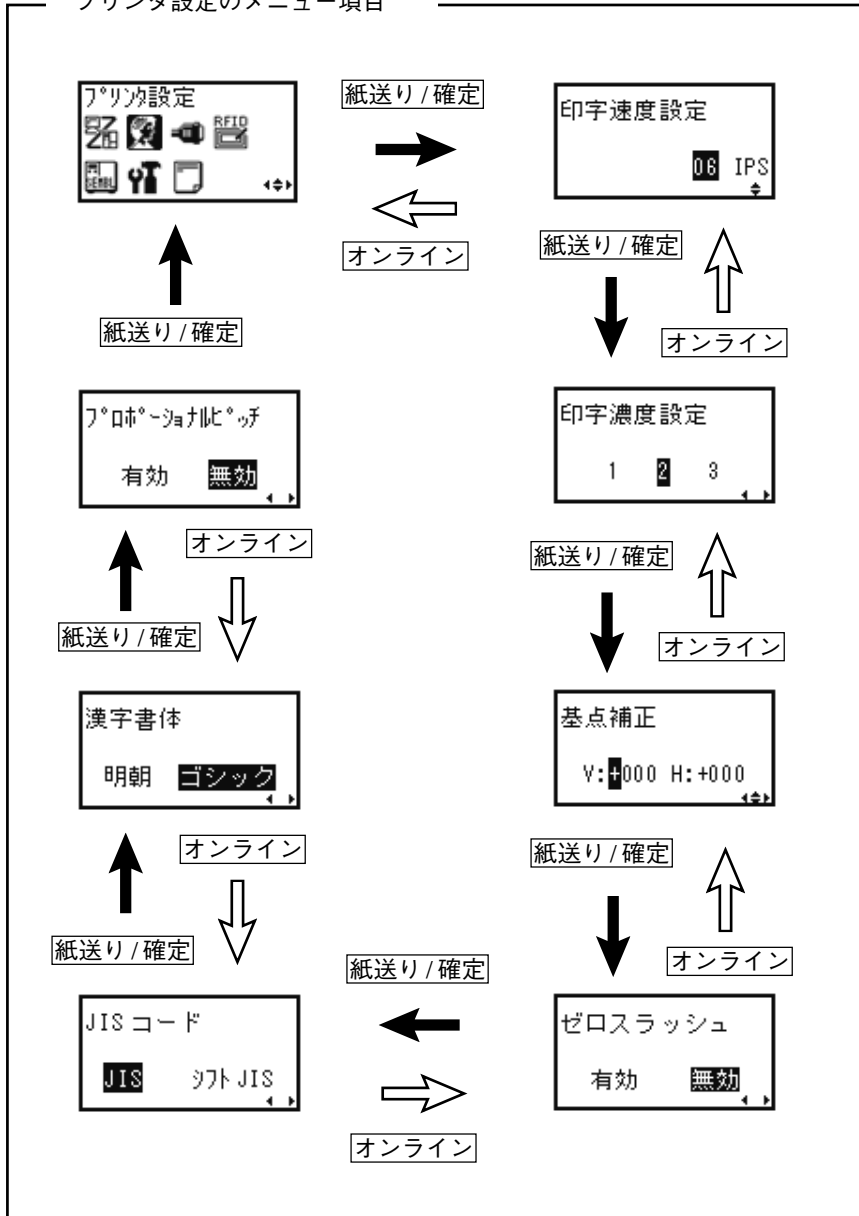
- SEMBL モード（73 ページ）
  SEMBL モードでプログラムを起動します。

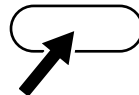
- 拡張設定（74 ページ）
  拡張機能の設定をします。以下項目が設定できます。
  - 濃度レンジ設定
  - 印字方式設定
  - 用紙サイズチェック設定
  - コマンドエラー表示
  - 給紙後オンライン設定
  - 基準位置移動後の発行動作設定
  - ヘッドチェック設定
  - 言語選択設定
  - プロトコルコード設定
  - LCD 節電時間設定
  - SEMBL モード自動起動設定

- HEX ダンプ印字（81 ページ）
  ダンプデータの設定をおこないます。

- RFID ユーザモード（82 ページ）
  RFID の出力データ形式を設定します。
  RFID ユーザモードは RFID 仕様機のみ表示されます。

プリンタ設定

印字条件の設定をおこないます。

プリンタ設定のメニュー項目

設定の登録

各プリンタ設定を有効にするためには、設定が終わった後、紙送り/確定 キーを１回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。

紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

印字速度設定
06 IPS

印字速度設定

プリンタの印字速度を設定します。設定値は02～10インチ / 秒（50～250mm/ 秒）で、１インチ / 秒ごとに設定できます。
用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください。

- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値を増減します。
- 02IPS が一番遅く、10IPS が一番速くなります。
- IPS はインチ／秒のことです。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、06 です。

印字濃度設定
1 2 3

印字濃度設定

プリンタの印字濃度を設定します。印字の濃度（濃さ）を１～３で設定できます。

- ◀ ▶ キーを押して、印字濃度を選びます。
- １～３までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。１が一番薄く、３が一番濃くなります。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、２です。

基点補正

V:+000 H:+000

基点補正

基点補正とは、用紙に印字する位置を基準設定する操作です。単位はdot単位です。1dotの長さは機種によって違います。ST308Rは1dot=0.125mm、ST312Rは1dot=0.083mmです。
ヘッドの密度により設定範囲が異なりますのでご注意ください。

ST308R： V±000～400dot H±000～400dot
ST312R： V±000～600dot H±000～600dot

基点補正とは

本プリンタには、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するかを設定します。

V：印字基準位置から、縦方向に何dot離れた位置を基点にして、印字するかを設定します。

“+”と“−”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後ろ

“−”：印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何dot離れた位置を基点にして、印字するかを設定します。

“+”と“−”は移動する方向です。

“+”：フレーム側（奥側）

“−”：カバー側（外側）

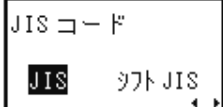
- ◀ ▶キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- カーソル位置が符号の下にある場合、“+”“−”を切替えます。
- 紙送り／確定キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、V：+000、H：+000です。

ゼロスラッシュ

有効 無効

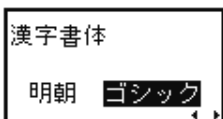
ゼロスラッシュ切替設定

ゼロ（漢字を除く）を“Ø”または“0”に設定できます。
※ 対象フォントはWB文字、WL文字、X1文字、X2文字、X3文字となります。

- ◀ ▶キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
- “有効”は、スラッシュ付きの“Ø”が印字されます。
- “無効”は、スラッシュなしの“0”が印字されます。
- 紙送り／確定キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

JISコード
JIS　ｼﾌﾄ JIS

JIS コード切替設定

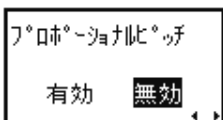
取り扱う漢字コードを JIS コード、シフト JIS コードに設定できます。

● ◀ ▶ キーを押して、“JIS”、“シフト JIS ”を選びます。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
● 初期値は、JIS です。

漢字書体
明朝　ゴシック

漢字書体切替設定

印字漢字書体のゴシック体、明朝体を設定できます。

● ◀ ▶ キーを押して、“ 明朝 ”、“ゴシック ”を選びます。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
● 初期値は、ゴシックです。

ﾌﾟﾛﾎﾟｰｼｮﾅﾙﾋﾟｯﾁ
有効　無効

プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するか、文字幅を固定で印字するか）を設定できます。

● ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、文字によって幅を詰めて印字します。
“無効”は、文字幅を固定にして印字します。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
● 初期値は、無効です。

通信設定

プリンタに装着されているインタフェースを自動認識し、各インタフェースの設定を表示します。
それぞれのインタフェース（オプション）の設定をおこないます。

通信設定のメニュー項目

通信設定 → 紙送り/確定 → Key-Bo 接続（有効／無効） → 59 ページ
Key-Bo 接続 → オンライン → 通信設定

Key-Bo 接続 → 紙送り/確定 → 通信設定（する／しない）
通信設定（する／しない） → オンライン → Key-Bo 接続
"しない" + 紙送り/確定 → 通信設定

"する" + 紙送り/確定 → ＊1
オンライン → 通信設定（する／しない）

USB インタフェースボード装着時：通信ﾌﾟﾛﾄｺﾙ（STATUS4／STATUS5） → 60 ページ

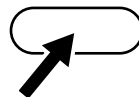
RS-232C インタフェースボード装着時：RS-232C 優先設定（DIPSW／LCD） → 61 ページ

パラレル（IEEE1284）インタフェースボード装着時：パラレル設定（CENTRONICS／IEEE1284） → 65 ページ

LANインタフェースボード、無線 LAN インタフェースボード装着時＊2：LAN 優先設定（ﾎﾞｰﾄﾞ／LCD） → 68 ページ

＊1　インタフェースボード（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
装着しない場合は各インタフェースの設定は表示されません。
＊2　無線 LAN インタフェースボードの設定の詳細は、セットアップガイドをご覧ください。

設定の登録

各通信設定を有効にするためには、設定が終わった後、 紙送り / 確定 キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。

紙送り/確定

紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

Key-Bo 接続

有効　無効

簡易入力装置 Key-Bo の設定

Key-Bo の接続を設定します。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

- ◀ ▶ キーを押して、"有効"、"無効"を選びます。
  "有効"は、簡易入力装置 Key-Bo との接続を自動認識し、Key-Bo が接続されると Key-Bo から送信されるデータのみ有効になります。
  "無効"は、簡易入力装置 Key-Bo との接続を認識しません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効です。

通信設定

する　しない

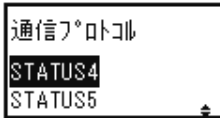
通信設定

通信設定の変更をおこなうかどうかを選びます。

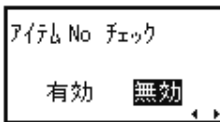
- ◀ ▶ キーを押して、"する"、"しない"を選びます。
  "する"は、装着しているインタフェースボードの通信設定画面に変わります。
  "しない"は、設定モードメニューに戻ります。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないです。

※ インタフェースボードを装着していない場合、"する"を選ぶと設定モードメニューに戻ります。

USB インタフェースボードを装着している場合

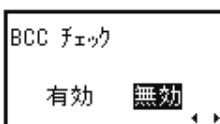
この画面はUSBインタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、通信プロトコルを選びます。
  - ・STATUS4
  - ・STATUS5
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- “STATUS4”は、設定モードメニューに戻ります。
- “STATUS5”は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

ｱｲﾃﾑ No ﾁｪｯｸ
有効 無効

アイテム No チェック設定

アイテム No チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、アイテム No チェック機能を有効にします。
  “無効”は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

BCC ﾁｪｯｸ
有効 無効

BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

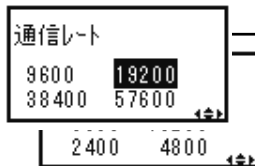
- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
  “無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。

RS-232C インタフェースボードを装着している場合

この画面はRS-232Cインタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

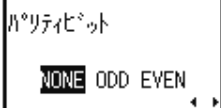
RS-232C 優先設定

RS-232C通信設定でインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“DIPSW”、“LCD”を選びます。
  “DIPSW”は、インタフェースボードの設定を優先します。
  “LCD”は、操作パネルでの設定を優先します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “DIPSW”は、インタフェースボードの通信プロトコル設定が“READY/BUSY”または“XON/XOFF”の場合、「受信バッファ設定」（64ページ）に進みます。それ以外は設定モードメニューに戻ります。
- “LCD”は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、DIPSW です。

通信レート設定

ボーレートを設定します。

- ▲ ▼ ◀ ▶ キーを押して、ボーレートの値を選びます。
  ・2400bps
  ・4800bps
  ・9600bps
  ・19200bps
  ・38400bps
  ・57600bps
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、19200 です。

ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄ
NONE ODD EVEN

パリティビット設定

パリティビットを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、パリティビットの値を選びます。
  - ・NONE
  - ・ODD
  - ・EVEN
- 紙送り／確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、NONE です。

ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ
1BIT 2BIT

ストップビット設定

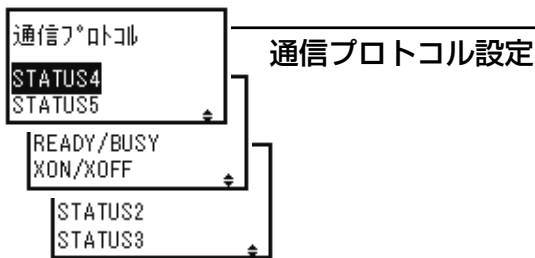
ストップビットを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“1BIT”、“2BIT” を選びます。
- 紙送り／確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、1BIT です。

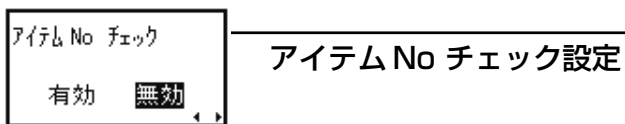
ｷｬﾗｸﾀﾋﾞｯﾄ
7BIT 8BIT

キャラクタビット設定

データ長を設定します。

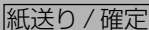
- ◀ ▶ キーを押して、“7BIT”、“8BIT” を選びます。
- 紙送り／確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、8BIT です。

通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、通信プロトコルを選びます。
  - · READY/BUSY
  - · XON/XOFF
  - · STATUS2
  - · STATUS3
  - · STATUS4
  - · STATUS5
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 設定値が "READY/BUSY" または "XON/XOFF" の場合は「受信バッファ設定」(64ページ)に進みます。
- "STATUS5" は、「アイテム No チェック設定」(63 ページ)に進みます。
- その他を選ぶと設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、STATUS4 です。

ｱｲﾃﾑ No ﾁｪｯｸ
有効 無効

アイテム No チェック設定

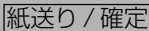
アイテム No チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで STATUS5 を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、"有効"、"無効" を選びます。
  "有効" は、アイテム No チェック機能を有効にします。
  "無効" は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

BCC ﾁｪｯｸ
有効　無効

BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
  “無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。

受信ﾊﾞｯﾌｧ
ﾏﾙﾁ　1 ｱｲﾃﾑ

受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。
この画面は通信プロトコルで“READY/BUSY”または“XON/XOFF”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“マルチ”、“1 アイテム”を選びます。
  “マルチ”は、マルチ受信です。
  “1 アイテム”は、1 アイテム受信です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、マルチです。

パラレル（IEEE1284）インタフェースボードを装着している場合

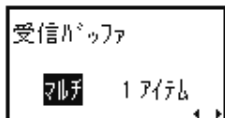
この画面はパラレル（IEEE1284）インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

パラレル設定
CENTRONICS
IEEE1284

パラレル設定

IEEE1284 の SELECT IN 信号の動作を設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、動作を選びます。
  “CENTRONICS”は、SELECT IN 信号が常時 Low となります。
  “IEEE1284”は、SELECT IN 信号が互換モードで Low、それ以外で High となります。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、IEEE1284 です。

受信ﾊﾞｯﾌｧ
ﾏﾙﾁ　1 ｱｲﾃﾑ

受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“マルチ”、“1 アイテム”を選びます。
  “マルチ”は、マルチ受信です。
  “1 アイテム”は、1 アイテム受信です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- パラレル設定で “CENTRONICS” または受信バッファ設定で “1アイテム” を選ぶと、「ACK 信号幅設定」（67 ページ）に進みます。
- パラレル設定で“IEEE1284”かつ受信バッファ設定で“マルチ”を選ぶと、通信プロトコルの設定（66 ページ）に進みます。
- 初期値は、マルチです。

通信ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
STATUS4
STATUS5

通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

● ▲ ▼ キーを押して、通信プロトコルを選びます。
　・STATUS4
　・STATUS5
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
●“STATUS4”は、設定モードメニューに戻ります。
●“STATUS5”は、次の設定画面に変わります。
● 初期値は、STATUS4 です。

ｱｲﾃﾑ No ﾁｪｯｸ
有効 無効

アイテム No チェック設定

アイテム No チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

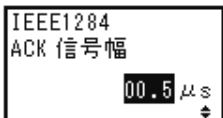
● ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
　“有効”は、アイテム No チェック機能を有効にします。
　“無効”は、アイテム No チェック機能を無効にします。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
● 初期値は、無効です。

BCC ﾁｪｯｸ
有効 無効

BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

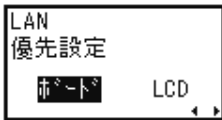
● ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
　“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
　“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
● 初期値は、無効です。

IEEE1284
ACK 信号幅
00.5 μs

ACK 信号幅設定

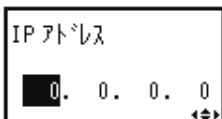
ACK 幅を設定します。
この画面は「通信プロトコル」設定で“CENTRONICS”を選ぶと、受信バッファで“マルチ”、“1 アイテム”のいずれを設定しても表示されます。
「通信プロトコル」設定で“IEEE1284”を選ぶと、受信バッファで“1 アイテム”を設定したときのみ表示されます。

- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値が 0.1 単位で増減します。
- 設定範囲は 00.5 ～ 12.0 です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、00.5 です。

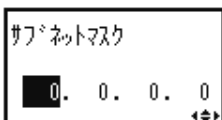
LAN/ 無線 LAN インタフェースボードを装着している場合

この画面は LAN/ 無線 LAN インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

LAN 優先設定

LAN 通信設定でインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“ボード”、“LCD”を選びます。
  “ボード”はインタフェースボードの設定を優先します。
  “LCD”は操作パネルでの設定を優先します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “ボード”は、「通信プロトコル設定」（71 ページ）に進みます。
- “LCD”は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、ボードです。

IP アドレス設定

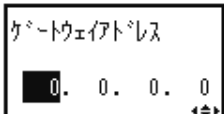
IP アドレスを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- 設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“000.000.000.000”です。

サブネットマスク
0. 0. 0. 0

サブネットマスク設定

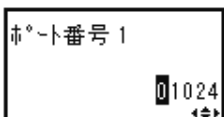
サブネットマスクを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- 設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“000.000.000.000”です。

ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
0. 0. 0. 0

ゲートウェイアドレス設定

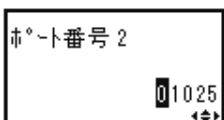
ゲートウェイアドレスを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- 設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- LAN インタフェースボードを装着している場合、「通信プロトコル設定」（71 ページ）が表示されます。
- 無線 LAN インタフェースボードを装着している場合、「ポート番号 1 の設定」（69 ページ）に進みます。
- 初期値は、“000.000.000.000”です。

ﾎﾟｰﾄ番号 1
01024

ポート番号 1 の設定

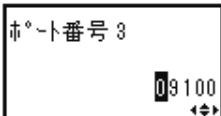
LAN のポート番号 1 を設定します。
この画面は無線 LAN インタフェースボードを装着したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値を増減します。
- 設定範囲は、“00000”～“65535”です。
- ポート番号 2、3 と同一の番号は設定できません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“01024”です。

ﾎﾟｰﾄ番号 2
01025

ポート番号 2 の設定

LAN のポート番号 2 を設定します。
この画面は無線 LAN インタフェースボードを装着したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値を増減します。
- 設定範囲は、“00000”～“65535”です。
- ポート番号 1、3 と同一の番号は設定できません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“01025”です。

ﾎﾟｰﾄ番号 3
09100

ポート番号３の設定

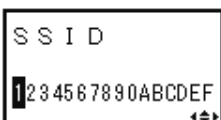
LAN のポート番号 3 を設定します。
この画面は無線 LAN インタフェースボードを装着したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値を増減します。
- 設定範囲は、“00000”～“65535”です。
- ポート番号 1、2 と同一の番号は設定できません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“09100”です。

通信モード設定

無線 LAN の通信モードを設定します。
この画面は無線 LAN インタフェースボードを装着したときのみ表示されます。

- ▲ ▼ キーを押して、通信モードを選びます。
  - ・802.11 Ad Hoc ：802.11 アドホックモード
  - ・Ad Hoc ：アドホックモード
  - ・Infrastructure ：インフラストラクチャモード
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、802.11 Ad Hoc です。

SSID
1234567890ABCDEF

SSID 設定

無線 LAN の SSID を設定します（大文字、小文字の区別があります）。
この画面は無線 LAN インタフェースボードを装着したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の設定値を変更します。
- 設定範囲は、英数字のみで最大 32 桁です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、スペースです。

※ LCD 設定では設定できる項目に制限があります。
英字（大文字、小文字）、数字のみ最大 32 桁まで入力可能です。
詳細は SBPL リファレンス、セットアップガイドをご覧ください。

チャンネル
01

チャンネル設定

無線 LAN のチャンネルを設定します。
この画面は無線 LAN インタフェースボードを装着したときのみ表示されます。

- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値を増減します。
- 設定範囲は、01 ～ 14 です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、01 です。

通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、通信プロトコルを選びます。
  ・STATUS3
  ・STATUS4
  ・STATUS5
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “STATUS3”は、設定モードメニューに戻ります。
- “STATUS4”は、「プリンタステータス返送タイミング設定」（72 ページ）に進みます。
- “STATUS5”は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

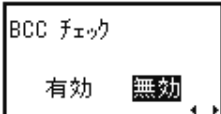
ｱｲﾃﾑ No ﾁｪｯｸ
有効 無効

アイテム No チェック設定

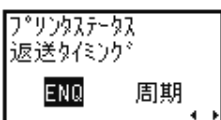
アイテム No チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、アイテム No チェック機能を有効にします。
  “無効”は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

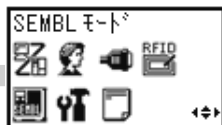
BCC ﾁｪｯｸ
有効 無効

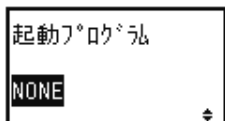
BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

● ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
● 初期値は、無効です。

ﾌﾟﾘﾝﾀｽﾃｰﾀｽ
返送ﾀｲﾐﾝｸﾞ
ENQ 周期

プリンタステータス返送タイミング設定

ステータス情報をコンピュータに返送するタイミングを設定します。
この画面は通信プロトコルで“STATUS4”を設定したときのみ表示されます。

● ◀ ▶ キーを押して、“ENQ”、“周期”を選びます。
“ENQ”は、コンピュータからステータス要求（ENQ）受信により返送します。
“周期”は、500m 秒間隔でプリンタよりコンピュータにステータスを返送します。
● 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
● 初期値は、ENQ です。

SEMBL モード

SEMBL（Sato EMbedded Basic Language）とは、サトーの組込み式ベーシック言語の呼称であり、本機能を使用することにより、お客様個別の運用が実現できる機能です。
詳細は、各担当営業にお問い合わせください。
SEMBL のプログラムが登録されている場合に使用できます。

起動ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
NONE

起動プログラム設定

SEMBL モードを起動した際に起動するプログラムを選びます。

- ▲ ▼ キーを押して、プログラムを選びます。
  - ・“NONE”：　起動プログラムを指定しません。
  - ・“XXXXXXXX. BAS”：プログラムを指定します。XXXXXXXX. BAS は本体メモリに登録されているプログラム名です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録されます。
  SEMBL モードへ移行し、選択したプログラムを実行します。
- 初期値は、NONE です。

拡張設定

拡張機能を設定します。

拡張設定のメニュー項目

拡張設定 → 紙送り/確定 → 濃度レンジ（A B C D E F）→ 紙送り/確定 → 印字方式（熱転写／感熱）→ 紙送り/確定 → 用紙サイズチェック（有効／無効）→ 紙送り/確定 → コマンドエラー表示（有効／無効）→ 紙送り/確定 → 給紙後オンライン（有効／無効）→ 紙送り/確定 → 基準位置移動後の発行動作（停止／継続）→ 紙送り/確定 → ヘッドチェック（有効／無効）→ "無効" + 紙送り/確定 → 言語選択（ENGLISH／日本語）→ 紙送り/確定 → プロトコルコード設定（STANDARD／NON-STANDARD）→ 紙送り/確定 → LCD 節電時間設定（00 分）→ 紙送り/確定 → SEMBLモード 自動起動（する／しない）→ "しない" + 紙送り/確定 → 拡張設定

ヘッドチェック（有効／無効）→ "有効" + 紙送り/確定 → ヘッドチェック（通常／バーコード）→ 紙送り/確定 → 言語選択

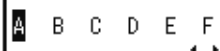
SEMBLモード 自動起動 → "する" + 紙送り/確定 → 起動プログラム（XXXXXXXX.BAS）→ 紙送り/確定 → 濃度レンジ

各画面で オンライン を押すと前の画面に戻ります。

設定の登録

各拡張設定を有効にするためには、設定が終わった後、紙送り / 確定 キーを 1 回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。

紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。
オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

濃度レンジ
A B C D E F

濃度レンジ設定

印字の濃度レンジを設定します。基本的には設定変更不要です。

- ◀ ▶ キーを押して、濃度レンジの値を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、A です。

印字方式
熱転写 感熱

印字方式設定

印字方式を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“熱転写”、“感熱 ” を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、熱転写です。

用紙ｻｲｽﾞﾁｪｯｸ
有効 無効

用紙サイズチェック設定

用紙サイズチェックの有効／無効を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効” を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

コマンドエラー表示
有効　無効

コマンドエラー表示設定

コマンドエラー表示の有効／無効を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、コマンドエラーを検知したときコマンドエラーとして発行動作を停止します。
  “無効”は、コマンドエラーを検知したときワーニングアイコンを表示して発行動作を続行します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

給紙後オンライン
有効　無効

給紙後オンライン設定

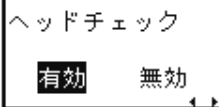
用紙を自動給紙した後のプリンタ状態を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、自動給紙後、プリンタをオンライン状態にします。
  “無効”は、自動給紙後、プリンタをオフライン状態にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効です。

基準位置移動後の
発行動作
停止　継続

基準位置移動後の発行動作設定

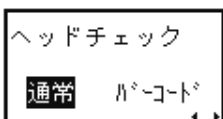
<#> コマンドで基準位置を変更した直後の動作を設定します。
コマンドについては、付属のCD-ROMのSBPLマニュアルをご覧ください。

- ◀ ▶ キーを押して、“停止”、“継続”を選びます。
  “停止”は、基準位置変更後、発行動作を一時停止します。
  “継続”は、基準位置変更後、発行動作を継続します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、継続です。

ヘッドチェック
有効　無効

ヘッドチェック設定

ヘッドチェック機能の有効／無効の設定をします。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
  “有効”は、ヘッドチェック機能を有効にします。
  “無効”は、ヘッドチェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 設定値を保存して、設定値が“有効”の場合は次の設定へ、“無効”の場合は「言語選択の設定」（79 ページ）へ変わります。
- 初期値は、有効です。

※ ヘッドチェック機能については 78 ページをご覧ください。

ヘッドチェック
通常　ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ

ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックをおこなう範囲を設定します。
この画面はヘッドチェック設定で“有効”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、範囲を選びます。
  ・“通常”は、印字領域をチェックします。
  ・“バーコード”は、バーコード印字領域のみをチェックします。
  バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、通常です。

ヘッドチェック機能について

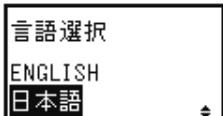
ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証するものではありません。定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります）。
ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りをおこなって確認してください。

＜ヘッドエラー発生時の対処方法＞

① ヘッドチェック範囲設定が通常の場合

- 紙送り／確定 キーを５秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
  - ・“通常”は、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。
    再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
  - ・“バーコード”は、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- オンライン キーと 紙送り／確定 キーを同時に５秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

② ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合

- オンライン キーと 紙送り／確定 キーを同時に５秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

言語選択
ENGLISH
日本語

言語選択の設定

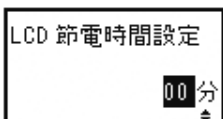
ディスプレイの表示言語を設定します。

- ▲ ▼キーを押して、“ENGLISH”、“日本語”を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、日本語です。

ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ設定
STANDARD
NON-STANDARD

プロトコルコード設定

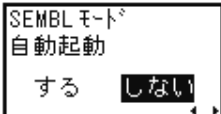
プロトコルコードのコード設定をします。

- ▲ ▼キーを押して、“STANDARD”、“NON-STANDARD”を選びます。
  “STANDARD”は、スタンダードコードとなります。
  “NON-STANDARD”は、ノンスタンダードコードとなります。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STANDARD です。

LCD 節電時間設定
00 分

LCD 節電時間の設定

一定時間操作がおこなわれない状態が続いたときにLCDバックライトを消灯して消費電力を節減します。

- ▲ ▼キーを押して、設定値を入力します。
- 設定範囲は 00 ～ 15 です。
- “00”は、本機能は無効になり、常時 LCD バックライトが点灯します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、00 です。

SEMBL ﾓｰﾄﾞ
自動起動
する　しない

SEMBL モードの自動起動設定

電源投入時に SEMBL モードを自動起動するかどうかを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“する”、“しない”を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “する”は、次の設定画面に変わります。
- “しない”は、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、しないです。

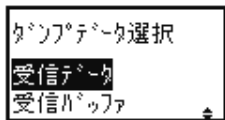
START PROGRAM
XXXXXXXX.BAS

起動プログラム設定

SEMBL モードを起動した際に起動するプログラムを選びます。

- ▲ ▼ キーを押して、プログラムを選びます。
  - ・NONE ：　起動プログラムを指定しません。
  - ・XXXXXXXX. BAS ： プログラムを指定します。XXXXXXXX. BAS は本体メモリに登録されているプログラム名です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、NONE です。

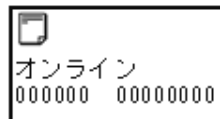
HEX ダンプ印字

ダンプ印字とは、受信したデータを HEX コードで印字することです。ここではダンプデータの設定をおこないます。

ダンプデータ選択

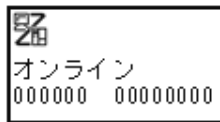
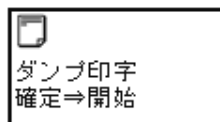
ダンプ印字するデータを選びます。

- ▲ ▼ キーを押して、“受信データ”、“受信バッファ”を選びます。
  - ・“受信データ”は、受信したデータをダンプ印字します。
  - ・“受信バッファ”は、受信済みの印字データ（1 アイテム分）をダンプ印字します。
    受信済みのデータがない場合は、“受信バッファ”は選べません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- オンライン キーを押すと、設定モードメニューに戻ります。

右図は HEX ダンプ印字状態の画面です。

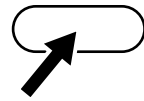
HEXダンプ印字後、オンライン キーを押し、オフライン状態にし、設定モード キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

受信バッファおよび内部バッファの場合

紙送り / 確定 キーを押すと HEX ダンプ印字をおこないます。

発行後、自動でオンライン状態に戻ります。

RFID ユーザモード

RFID ユーザの設定をおこないます。このモードは RFID 仕様機のみ表示されます。

設定の登録

各 RFID ユーザモード設定を有効にするためには、設定が終わった後、

紙送り / 確定 キーを 1 回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。

紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

RFID ﾗｲﾌ ｶｳﾝﾀ
成功 000000
失敗 000000
合計 000000

RFID ライフカウンタの表示

ファクトリクリア後の RFID 書込み総枚数を表示します。

- 紙送り / 確定 キーを押すと、次の設定画面に変わります。

RFID ｶﾚﾝﾄ ｶｳﾝﾀ
成功 000000
失敗 000000
合計 000000

RFID カレントカウンタの表示

RFID 書込み枚数を表示します。
次項の RFID カレントカウンタの初期化以降のカウントを保持します。

- 紙送り / 確定 キーを押すと、次の設定画面に変わります。

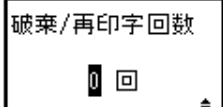
RFID ｶｳﾝﾀ初期化
はい いいえ

RFID カレントカウンタの初期化

RFID カレントカウンタを初期化します。

- ◀ ▶ キーを押して、“はい”、“いいえ”を選びます。
  - ・“はい”は、RFID カレントカウンタを初期化します。
  - ・“いいえ”は、RFID カレントカウンタを初期化しません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。

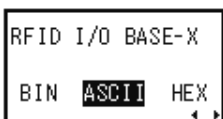
破棄/再印字回数

0 回

破棄 / 再印字回数の設定

RFID タグエラー時の再印字回数、破棄回数を設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、回数を設定します。
- 設定範囲は、0 ～ 9 です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、0 です。

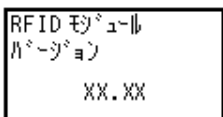
RFID I/O BASE-X

BIN ASCII HEX

出力データ形式設定

RFID の出力データ形式を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、データ形式を選びます。
  - ・BIN：　バイナリー形式
  - ・ASCII：アスキー形式
  - ・HEX：　ヘキサ形式
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
- 初期値は、ASCII です。

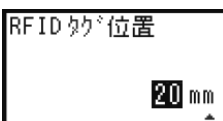
RFID ﾓｼﾞｭｰﾙ
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

XX.XX

RFID モジュールバージョンの表示

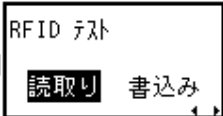
RFID モジュールのバージョンを表示します。

- 紙送り / 確定 キーを押すと、次の画面に変わります。

RFID ﾀｸﾞ位置

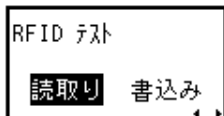
20 mm

RFID タグ位置の設定

用紙先頭（基準位置）からの RFID タグ位置を設定します。

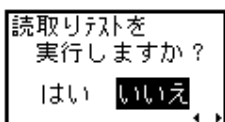
- ▲ ▼ キーを押して、RFID タグ位置を設定します。
- 設定範囲は、20 ～ 240 です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、20 です。

RFID テスト
読取り　書込み

RFID テスト

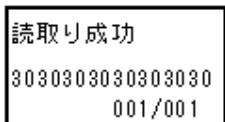
RFID タグに対して読取り / 書込みテストを実施します。

RFID テスト
読取り　書込み

RFID 読取りテスト選択時

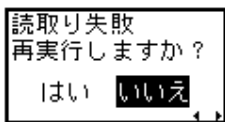
- ◀ ▶ キーを押して、“読取り”を選び 紙送り / 確定 キーを押すと、次の画面に変わります。

読取りテストを
実行しますか？
はい　いいえ

読取りテストを実行します。

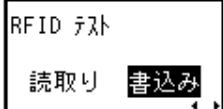
- ◀ ▶ キーを押して、“はい”を選び 紙送り / 確定 キーを押すと、次の画面に変わります。
- テストを終了する場合は、“いいえ”を選び 紙送り / 確定 キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

読取り成功
3030303030303030
001/001

読取りテストの成功を表示します。

- 読取りテストが成功すると、この画面が表示されます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

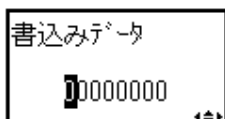
読取り失敗
再実行しますか？
はい　いいえ

読取りテストの再実行を表示します。

- 読取りテストが失敗すると、この画面が表示されます。テストを再実行する場合は ◀ ▶ キーを押して、“はい”を選び 紙送り / 確定 キーを押します。
- テストを終了する場合は “いいえ”を選び 紙送り / 確定 キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

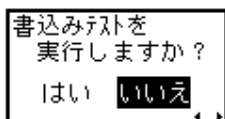
RFID ﾃｽﾄ
読取り 書込み

RFID 書込みテスト選択時

RFID タグに対して書込みテストを実施します。

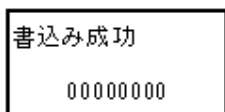
- ◀ ▶ キーを押して、“書込み”を選び 紙送り / 確定 キーを押すと、次の画面に変わります。

書込みﾃﾞｰﾀ
00000000

RFID に書込むデータを入力します。

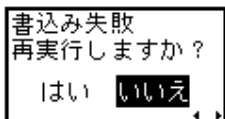
- ◀ ▶ キーでカーソルを移動し、▲ ▼ キーでデータを入力します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。

書込みﾃｽﾄを
実行しますか？
はい いいえ

書込みテストを実施します。

- ◀ ▶ キーを押して、“はい”を選び 紙送り / 確定 キーを押します。
- テストを終了する場合は、“いいえ”を選び 紙送り / 確定 キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

書込み成功
00000000

書込みテストの成功を表示します。

- 書込みテストが成功するとこの画面が表示されます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

書込み失敗
再実行しますか？
はい　いいえ

書込みテストを再実行します。

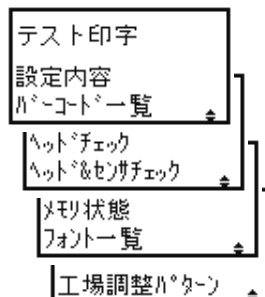
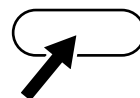
- 書込みテストが失敗すると、この画面が表示されます。テストを再実行する場合は ◀ ▶ キーを押して、“はい”を選び 紙送り／確定 キーを押します。
- テストを終了する場合は“いいえ”を選び 紙送り／確定 キーを押すと設定モードメニューに戻ります。

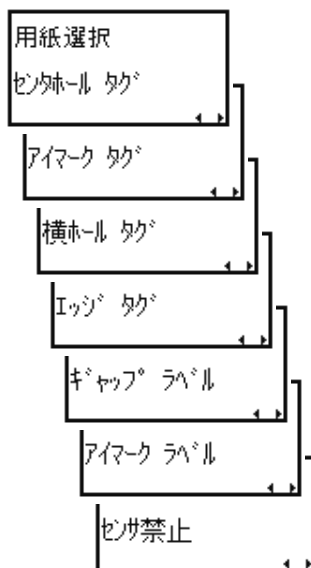
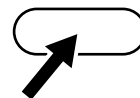
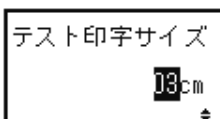
テスト印字モード

テスト印字を開始します。

❶ テスト印字モードに入るには、紙送り／確定 キーを押しながら、電源を ON にします。

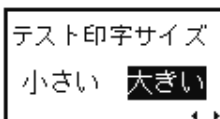
❷ ▲ ▼ キーを押すごとに、選択項目が切替わります。テスト印字できる項目は次のとおりです。

テスト印字パターン	印字内容
設定内容	本プリンタの設定内容を印字します。
バーコード一覧	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。
ヘッドチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。
ヘッドチェック＆センサチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンとセンサレベル値を印字します。
メモリ状態	本プリンタに搭載しているメモリ内容を印字します。
フォント一覧	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。
工場調整パターン	本プリンタの機器情報を印字します。

❸ 紙送り／確定 キーを押し、設定を確定します。
用紙選択設定画面が表示されます。

❹ ◀ ▶ キーを押すごとに、用紙種類（センサ）が切替わります。テスト印字できる用紙は次のとおりです。

・センタホールタグ
・アイマークタグ
・横ホールタグ
・エッジタグ
・ギャップラベル
・アイマークラベル
・センサ禁止

❺ 紙送り / 確定 キーを押して、印字する項目を確定します。
選択した項目により、それぞれの設定に移行します。
・“設定内容”、“バーコード一覧”、“ヘッドチェック”、“ヘッド＆センサチェック”を選択した場合：「テスト印字サイズ選択 1」（88 ページ）
・“メモリ内容”、“フォント一覧”を選択した場合：「仕分け動作設定」（88 ページ）
・“工場調整パターン”を選択した場合：「テスト印字サイズ選択 2」（88 ページ）

テスト印字サイズ
03cm

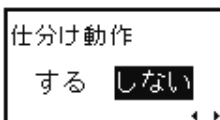
テスト印字サイズ選択 1

テスト印字を発行するサイズを選びます。
「テスト印字モード」で、“設定内容”、“バーコード一覧”、“ヘッドチェック”、“ヘッド＆センサチェック”を選択した場合に表示します。

- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値が増減します。
- 設定範囲は、03 ～ 08 です。
- 紙送り / 確定 キーを押し、設定を確定します。仕分け動作設定画面に変わります。
- 初期値は、03 です。

テスト印字サイズ
小さい 大きい

テスト印字サイズ選択 2

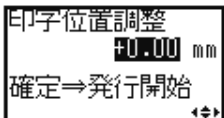
テスト印字幅を選びます。
「テスト印字モード」（87 ページ）で“工場調整パターン”を選択した場合に表示します。

- ◀ ▶ キーを押して、印字サイズを選びます。
  “大きい”： 8cm 幅のサイズでテスト印字します。
  “小さい”： 3cm 幅のサイズでテスト印字します。
- 紙送り / 確定 キーを押し、設定を確定します。仕分け動作設定画面に変わります。
- 初期値は、大きいです。

仕分け動作
する しない

仕分け動作設定

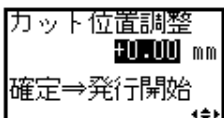
テスト印字中に仕分け動作するかどうかを選びます。
用紙種類がタグのときにのみ設定が有効になります。ラベル選択時は動作しません。

- ◀ ▶ キーを押して、仕分け動作を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないです。

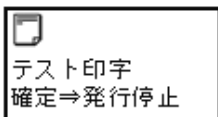
印字位置調整
+0.00 mm
確定⇒発行開始

印字位置調整

印字位置を調整します。

- ◀ ▶ キーを押すごとに、調整項目（印字位置⇔カット位置）を切替えます。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値が 0.25mm 単位で増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です。
- 紙送り / 確定 キーを押し、設定を確定します。テスト印字発行画面に変わります。
- 初期値は、± 0.00 です。

カット位置調整
+0.00 mm
確定⇒発行開始

カット位置調整

カット位置を調整します。

- ◀ ▶ キーを押すごとに、調整項目（印字位置⇔カット位置）を切替えます。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値が 0.25mm 単位で増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です。
- 紙送り / 確定 キーを押し、設定を確定します。テスト印字発行画面に変わります。
- 初期値は、± 0.00 です。

テスト印字
確定⇒発行停止

テスト印字発行

テスト印字発行中の画面です。

- 紙送り / 確定 キーを押すと、テスト印字を停止します。
- テスト印字を停止すると、画面は印字位置調整画面またはカット位置調整画面に戻ります。

初期化設定モード

プリンタの設定を初期化します。初期値とは、本プリンタがはじめから記憶している設定値です。この初期値設定をおこなうと、今までの印字条件の設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。

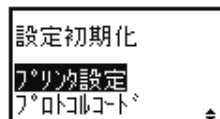
通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

プリンタの電源が入っていたら、電源を切ってください。

❶ オンライン キーと 紙送り / 確定 キーを押しながら、電源を ON にします。

❷ ▲ ▼ キーを押して、“プリンタ設定”、“プロトコルコード”を選びます。

“プリンタ設定”は、プリンタの設定を初期化します。
“プロトコルコード”は、プロトコルコードを初期化します。

設定初期化
ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ

❸ 紙送り / 確定 キーを押して、初期化する項目を確定します。
選択した項目により、それぞれの設定に移行します。
- “プリンタ設定”を設定した場合：「プリンタ設定初期化の場合」（90 ページ）
- “プロトコルコード”を設定した場合：「プロトコルコード初期化の場合」（91 ページ）

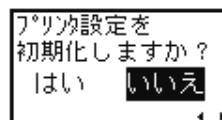
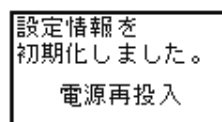
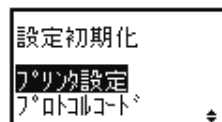
プリンタ設定初期化の場合

プリンタの設定を初期化します。

❶ ◀ ▶ キーを押して、“はい”、“いいえ”を選びます。

ﾌﾟﾘﾝﾀ設定を
初期化しますか？
はい　いいえ

❷ 紙送り / 確定 キーを押して、確定します。
“はい”は、初期化した後に完了画面が表示されます。

設定情報を
初期化しました。
電源再投入

“いいえ”は、設定初期化画面に戻ります。

設定初期化
ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ

❸ 電源を再投入します。

プロトコルコード初期化の場合

プロトコルコードを初期化します。

❶ ◀ ▶ キーを押して、“はい”、“いいえ”を選びます。

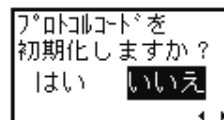
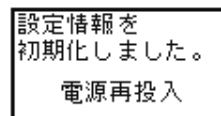
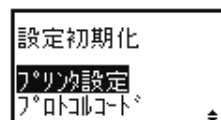
```
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞを
初期化しますか？
 はい   いいえ
```

❷ 紙送り / 確定 キーを押して、確定します。
“はい”は、初期化した後に完了画面が表示されます。

```
設定情報を
初期化しました。
   電源再投入
```

“いいえ”は、設定初期化画面に戻ります。

```
設定初期化

ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ
```

❸ 電源を再投入します。

初期設定値一覧

プリンタ設定、通信設定、拡張設定の各設定値が次の初期値に戻ります。

設定項目			初期値	参照ページ
プリンタ設定				
	印字速度		06IPS	55
	印字濃度		2	55
	基点補正		V:+000　H:+000	56
	ゼロスラッシュ		無効	56
	JISコード		JIS	57
	漢字書体		ゴシック	57
	プロポーショナルピッチ		無効	57
通信設定				
	Key-Bo接続		有効	59
	USB			
		通信プロトコル	STATUS4	60
		アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	60
		BCCチェック（STATUS5）	無効	60
	RS-232C			
		RS-232C優先設定	インタフェースボード上の設定優先（DSW）	61
		通信レート（LCD）	19200	61
		パリティビット（LCD）	NONE	62
		ストップビット（LCD）	1BIT	62
		キャラクタビット（LCD）	8BIT	62
		通信プロトコル	STATUS4	63
		アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	63
		BCCチェック（STATUS5）	無効	64
		受信バッファ（READY/BUSY、XON/XOFF）	マルチ	64

設定項目			初期値	参照ページ
通信設定				
	パラレル			
		パラレル設定	IEEE1284	65
		受信バッファ	マルチ	65
		通信プロトコル	STATUS4	66
		アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	66
		BCCチェック（STATUS5）	無効	66
		ACK信号幅	00.5μs	67
	LAN/無線LAN			
		LAN優先設定	インタフェースボード上の設定優先（DSW）	68
		IPアドレス（LCD）	000.000.000.000	68
		サブネットマスク（LCD）	000.000.000.000	68
		ゲートウェイアドレス（LCD）	000.000.000.000	69
		LANポート番号1（無線LAN）	01024	69
		LANポート番号2（無線LAN）	01025	69
		LANポート番号3（無線LAN）	09100	70
		通信モード（無線LAN）	802.11 Ad Hoc	70
		SSID設定（無線LAN）	（スペース）	70
		チャンネル設定（無線LAN）	01	71
		通信プロトコル	STATUS4	71
		アイテムNo チェック（STATUS5）	無効	71
		BCCチェック（STATUS5）	無効	72
		プリンタステータス返送タイミング（STATUS4）	ENQ	72
拡張設定				
	濃度レンジ		A	75
	印字方式		熱転写	75
	用紙サイズチェック		無効	75
	コマンドエラー表示		無効	76
	給紙後オンライン		有効	76
	基準位置移動後の発行動作		継続	76
	ヘッドチェック		有効（通常）	77
	言語選択		日本語	79
	プロトコルコード		STANDARD	79
	LCD節電時間設定		00分	79
	SEMBLモード自動起動		しない	80

ディスプレイ遷移図

LCD モード一覧

通常モード

＊ 選択した用紙種類によって表示順が変わることがあります。

ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
RFID
オンライン
紙送り / 確定
印字速度設定
06 IPS
設定モード
印字濃度設定
1 2 3
基点補正
V:+000 H:+000
ゼロスラッシュ
有効 無効
JIS コード
JIS ｼﾌﾄ JIS
漢字書体
明朝 ゴシック
ﾌﾟﾛﾎﾟｰｼｮﾅﾙﾋﾟｯﾁ
有効 無効
紙送り / 確定

オフライン状態
ｾﾝﾀﾎｰﾙ ﾀｸﾞ 1
000000 00000000
ｱｲﾏｰｸ ﾀｸﾞ 2
000000 00000000
横ﾎｰﾙ ﾀｸﾞ 3
000000 00000000
ｴｯｼﾞ ﾀｸﾞ 4
000000 00000000
ｷﾞｬｯﾌﾟ ﾗﾍﾞﾙ 5
000000 00000000
ｱｲﾏｰｸ ﾗﾍﾞﾙ 6
000000 00000000
ｾﾝｻ禁止 7
000000 00000000
設定モード+▲
印字位置調整
+0.00 mm
オンライン または 設定モード
紙送り / 確定
カット位置調整
+0.00 mm
オンライン または 設定モード
紙送り / 確定
印字濃度調整
50
オンライン または 設定モード
紙送り / 確定

通信設定

通信設定
RFID
オンライン
紙送り / 確定
設定モード
Key-Bo 接続
有効
無効
オンライン
紙送り / 確定
“する” + 紙送り / 確定
設定モード
通信設定
する
しない
オンライン
“しない” + 紙送り / 確定
パラレル設定
CENTRONICS
IEEE1284
USB
インタフェースボード設定
(99 ページ)
RS-232C
優先設定
DIPSW
LCD
RS-232C
インタフェースボード設定
(100 ページ)
通信ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
STATUS4
STATUS5
パラレル (IEEE1284)
インタフェースボード設定
(101 ページ)
LAN
優先設定
ﾎﾞｰﾄﾞ
LCD
LAN/ 無線 LAN
インタフェースボード設定
(102 ページ)
各インタフェース設定終了 +
紙送り / 確定

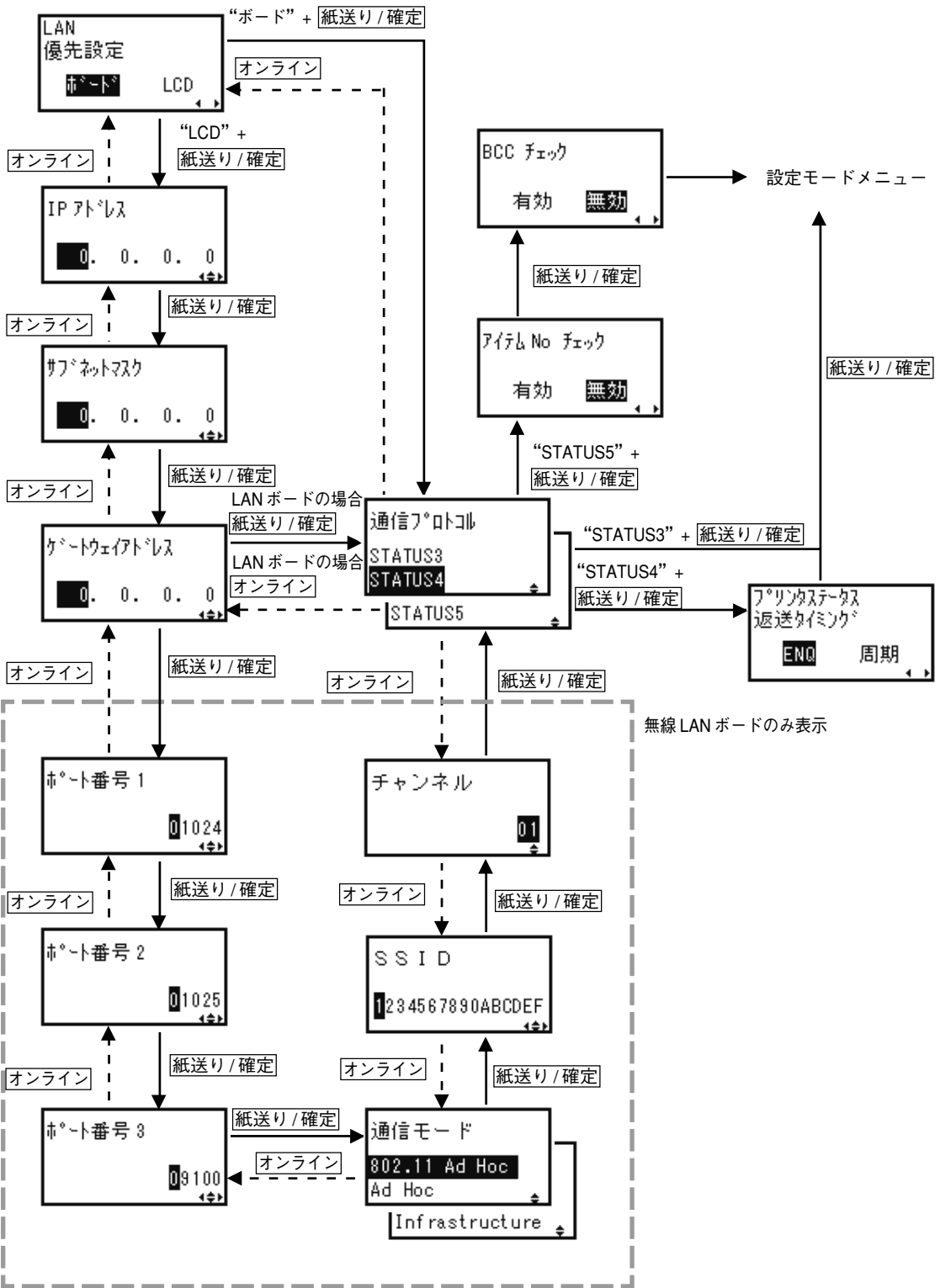
USB インタフェースボード設定

RS-232C インタフェースボード設定

8

動かしてみましょう

パラレル（IEEE1284）インタフェースボード設定

LAN/ 無線 LAN インタフェースボード設定

※ 各画面で 設定モード キーを押すと設定モードメニュー画面に戻ります。

SEMBL ﾓｰﾄﾞ
オンライン
紙送り / 確定
設定モード
起動ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
NONE
XXXXXXXX.BAS
登録済みのプログラム名
を表示
紙送り / 確定
オンライン
オンライン
000000 00000000
ｾﾝﾀﾎｰﾙ ﾀｸﾞ 1
000000 00000000

拡張設定

拡張設定
RFID
オンライン
紙送り / 確定
濃度レンジ
A B C D E F
印字方式
熱転写 感熱
用紙サイズチェック
有効 無効
コマンドエラー表示
有効 無効
給紙後オンライン
有効 無効
基準位置移動後の
発行動作
停止 継続
ヘッドチェック
有効 無効
“有効” + 紙送り / 確定
ヘッドチェック
通常 バーコード
“無効” + 紙送り / 確定
言語選択
ENGLISH
日本語
プロトコルコード設定
STANDARD
NON-STANDARD
LCD 節電時間設定
00 分
SEMBL モード
自動起動
する しない
“する” + 紙送り / 確定
起動プログラム
XXXXXXXX.BAS
“しない” + 紙送り / 確定

HEX ダンプ印字

8

動かしてみましょう

RFID ﾕｰｻﾞﾓｰﾄﾞ
オンライン
紙送り / 確定
RFID ﾗｲﾌ ｶｳﾝﾀ
成功 000000
失敗 000000
合計 000000
RFID ｶﾚﾝﾄ ｶｳﾝﾀ
成功 000000
失敗 000000
合計 000000
RFID ｶｳﾝﾀ初期化
はい いいえ
破棄/再印字回数
0 回
RFID I/O BASE-X
BIN ASCII HEX
RFID ﾓｼﾞｭｰﾙ
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
XX.XX
※ RFID モジュールによりバージョン
の表示方法が異なります。
RFID ﾀｸﾞ位置
20 mm
“書込み” + 紙送り / 確定
RFID ﾃｽﾄ
読取り 書込み
“読取り” + 紙送り / 確定
書込みﾃﾞｰﾀ
00000000
読取りﾃｽﾄを
実行しますか？
はい いいえ
“いいえ” + 紙送り / 確定
“はい” + 紙送り / 確定
書込みﾃｽﾄを
実行しますか？
はい いいえ
読取り成功
読取り失敗
読取り失敗
再実行しますか？
はい いいえ
書込み成功
書込み失敗
書込み失敗
再実行しますか？
はい いいえ
オン
ライン
“はい” +
紙送り / 確定
読取り成功
読取り成功
3030303030303030
001/001
書込み成功
書込み成功
00000000
“いいえ” +
紙送り / 確定

テスト印字モード

8

動かしてみましょう

オンライン + 紙送り / 確定
+POWER ON
設定初期化
ﾌﾟﾘﾝﾀ設定
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞ
“プロトコルコード” + 紙送り / 確定
オンライン または
“いいえ” + 紙送り / 確定
または 設定モード
オンライン または
“いいえ” + 紙送り / 確定
または 設定モード
“プリンタ設定” +
紙送り / 確定
ﾌﾟﾘﾝﾀ設定を
初期化しますか？
はい いいえ
ﾌﾟﾛﾄｺﾙｺｰﾄﾞを
初期化しますか？
はい いいえ
“はい” +
紙送り / 確定
“はい” + 紙送り / 確定
設定情報を
初期化しました。
電源再投入

9. あれ？どうしたのかな？

本プリンタがエラー状態になったとき、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合、どうしたらよいかを説明します。また、本プリンタの操作をしていてうまくいかなかったときも、この章をお読みください。

警告メッセージ

カーボンリボンの残量が少なくなったなどユーザーの処置が必要な場合､ディスプレイに警告メッセージを表示します。警告メッセージが表示されてもプリンタは印字を続行します。

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
オンライン 000000 00000000	オンライン：点灯 エラー：消灯	カーボンリボンの残量が少なくなりました。	このまま使用し続けても構いません。 印字途中で“エラー09　リボンがなくなりました”を表示した場合はリボンを交換してください。
オンライン 000000 00000000	オンライン：点滅 エラー：消灯	受信バッファの空き容量が少なくなりました。	印字またはデータをキャンセルして受信バッファの空き容量を増やしてください。
オンライン 000000 00000000	オンライン：点灯 エラー：消灯	印字データ中に不正なコマンドを検出しました。	データを確認します。
		印字データが印字領域を越えました。	印字領域を越えないよう印字データおよび基点補正値を調整します（56ページ）。
オンライン 000000 00000000	オンライン：点灯 エラー：消灯	サーマルヘッドの断線を検出しました。	サーマルヘッドの交換が必要です。販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
排出されたタグを 取り除いて下さい	オンライン：消灯 エラー：消灯	SBPLの<#>コマンドにより、基準位置が変更されました。 ※本警告は拡張機能の「基準位置移動後の発行動作」が「停止」に設定され、用紙種がタグでカッタONのときのみ表示されます。	排出されたタグを取り除いて、オンラインキーを押してください。 または、基準位置移動後の発行動作設定を“継続”にしてください（76ページ）。

エラーメッセージ

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラーLEDを点灯/点滅し、印字動作を停止します。エラーメッセージが表示された場合、どうしたらよいか説明します。

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
01 マシンエラー	オンライン：消灯 エラー：点灯	基板の不良です。	電源をON/OFFしてください。再発するようでしたら基板の交換が必要です。販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
02 FLASHROM エラー	オンライン：消灯 エラー：点灯	フラッシュROMにアクセスできません。	電源をON/OFFしてください。再発するようでしたら基板の交換が必要です。販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
		書込み回数をオーバーしました。	
03 通信条件を確認してください	オンライン：点滅 エラー：点灯	通信条件が合っていません。（パリティエラー）	通信条件を合わせます。
		ケーブルの接続が合っていません。	ケーブルを正しく接続します。
04 通信条件を確認してください	オンライン：点滅 エラー：点灯	通信条件が合っていません。（オーバーランエラー）	通信条件を合わせます。
		ケーブルの接続が合っていません。	ケーブルを正しく接続します。
05 通信条件を確認してください	オンライン：点滅 エラー：点灯	通信条件が合っていません。（フレーミングエラー）	通信条件を合わせます。
		ケーブルの接続が合っていません。	ケーブルを正しく接続します。
06 送信データが多すぎます	オンライン：点滅 エラー：点灯	受信バッファ容量を超えるデータを受信しました。	受信バッファを超えないようコンピュータのプログラムを修正します。
		通信プロトコルが合っていません。	コンピュータのプログラムを通信プロトコルに合わせます。
07 ヘッドが開いています	オンライン：消灯 エラー：点滅	サーマルヘッド部がロックされていません。	サーマルヘッド部をロックします。
		ヘッドオープンセンサの異常です。	販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
08 用紙がなくなりました	オンライン：消灯 エラー：点滅	用紙がありません。	用紙を正しくセットします。
		用紙が正しくセットされていません。	
08 用紙がありません センタホール タグ	オンライン：消灯 エラー：点滅	電源投入時に用紙がセットされていません。	用紙を正しくセットします。（本エラー表示中に 用紙選択 キーを押すことで用紙種類を変更することが可能です。）

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
09 リボンが なくなりました	オンライン：消灯 エラー：点滅	カーボンリボンがありません。	カーボンリボンを正しくセットします。
		カーボンリボンが切れています。	リボン搬送ルートを清掃・調整します。
10 用紙を正しく セットして下さい	オンライン：消灯 エラー：点灯	用紙長検出センサのレベルが合っていません。	販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
		用紙種類が合っていません。	用紙種類を合わせます。
		用紙が蛇行しています。	用紙搬送ルートを清掃・調整します。
11 ヘッドが 断線しています	オンライン：消灯 エラー：点灯	サーマルヘッドが断線しています。	サーマルヘッドの交換が必要です。販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
12 メモリにアクセス できません	オンライン：消灯 エラー：点滅	書込みに失敗しました。	電源をON/OFFしてください。再発するようでしたら基板の交換が必要です。販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
13 メモリの空き容量 がありません	オンライン：消灯 エラー：点滅	メモリの容量が不足しています。	メモリの不要なデータを削除します。
14 ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃﾞｰﾀが 不正です	オンライン：消灯 エラー：点灯	不正なダウンロードデータを受信しました。	ダウンロードデータを確認します。
		ダウンロード領域がありません。	ダウンロードデータサイズを確認します。
15 用紙が 切れませんでした	オンライン：消灯 エラー：点滅	カッタ部で用紙がつまりました。	カッタ部の清掃をします。再発するようでしたらカッタ部のベルトの調整が必要です。 販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
		カッタ部のスリットが正しく動作していません。	
16 カッタセンサを 確認してください	オンライン：消灯 エラー：点滅	カッタのセンサ位置が合っていません。	カッタセンタの位置を合わせます。または指定したサイズの用紙をセットします。 ※本画面で [排出カット] キーを押すと一度カット動作をおこないます。その後タグを取り出して再セットしてください。
17 ＢＣＣが 一致していません	オンライン：消灯 エラー：点滅	受信データ（1アイテム分）に付加されたBCCが異なっています。	送信データおよび通信設定を確認します。
18 アイテム番号が 異なります	オンライン：消灯 エラー：点滅	印字データ（1アイテム分）のシーケンス番号が前に印字したデータのシーケンス番号+1ではありません。	送信データおよび通信設定を確認します。

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
19 スタッカ／巻取機 が一杯です	オンライン：消灯 エラー：点滅	スタッカ/巻取機がいっぱいになっています。	スタッカ/巻取機から用紙を取り除きます。 用紙おさえの位置を確認してください。
21 不正な漢字ﾃﾞｰﾀを 読み込みました	オンライン：消灯 エラー：点滅	漢字ROMより不正な漢字データが読み込まれました。	販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
23 RFID ﾀｸﾞ不良	オンライン：消灯 エラー：点灯	RFIDタグへ情報の書込みが正しくおこなえませんでした。	書込みがおこなえなかったRFIDタグにエラー印字して、次のRFIDタグに情報を書込み始め、エラーが解除されます。 印字を停止する場合は［オンライン］＋［紙送り/決定］キーを押します。 印字を停止するとエラーが解除されます。
23 RFID ﾌﾟﾛﾃｸﾄｴﾗｰ			
23 RFID ﾀｸﾞ不良 ｵﾝﾗｲﾝ⇒再試行			このエラーでは印字を一旦停止します。 ［オンライン］キーを押すと再度RFIDタグに情報を書込み始め、エラーが解除されます。 印字を停止する場合は［オンライン］＋［紙送り/決定］キーを押します。 印字を停止するとエラーが解除されます。
24 ﾘﾎﾞﾝｺｱﾉﾝﾛｯｸｴﾗｰ	オンライン：消灯 エラー：点滅	リボン巻取部がロックされていません。	リボン巻取部をロックします。再発するようでしたらリボンコアセンサの調整・交換が必要です。 販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
25 用紙が違います XXXXX L000-W000	オンライン：消灯 エラー：点滅	用紙サイズが指定したサイズと合っていません。	指定したサイズの用紙をセットします。
		用紙種類が指定したものと異なります。	指定した用紙種類をセットします。
26 データが不正です Caaa:<bb>:cc	オンライン：消灯 エラー：点滅	印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出しました。 Caaa：エラー発生位置 <bb>：エラーコマンド名 cc　：エラー種別コード	印字データを確認します。 送信したSBPLコマンドを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。
27 ﾘｯﾄﾞﾗｯﾁが 開いています	オンライン：消灯 エラー：点滅	リッドラッチがロックされていません。	リッドラッチをロックします。再発するようでしたらラッチオープンセンサの調整・交換が必要です。販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

こんなときは？

本プリンタの操作をしてもうまくいかなかったときは、次のことを確認してください。

オンラインLEDが緑で点滅している

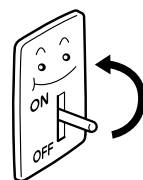
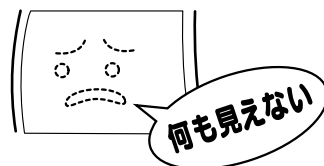
- **受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。**
  → このまま使用して構いません。プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

発行途中でブザー音がした

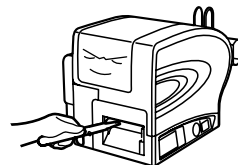
- **コマンド記述の誤りまたは印字領域指定が誤っています。**
  → プログラムを見直してください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない

- **電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？**
  → 電源コードをコンセントにしっかりと差し込み直します。
- **本プリンタに電源コードがしっかりと差し込まれていますか？**
  → 電源コードを本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。

- **電源コードがいたんでいませんか？**
  → 電源コードを取り替えてください。
  新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店、ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
- **本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？**
  → 電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。
- **建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカーが落ちたりしていませんか？**
  → 建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源ONの位置に直してください。

> ⚠ **注意**
>
> **濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。**

紙送りはするが印字しない

- **サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？**
  → サーマルヘッドが汚れていたら、クリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。
  ※ 金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。
  このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、「お手入れのしかた」（118 ページ）をご覧になり、クリーニングペンでふき取ってください。

- **本プリンタ用の“純正”用紙・カーボンリボンを使っていますか？**
  → サトー製プリンタには“純正”サプライのご使用をお願いします。
- **ペーパーフィードローラーが汚れていませんか？**
  → ペーパーフィードローラーが汚れていたら、「お手入れのしかた」（118ページ）をご覧になり、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。
- **コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？**
  → コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

きれいに印字しない

- **用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？**
  → 用紙·カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるか調べてください。

- **印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？**
  → 設定操作で印字濃度を設定し直してください。

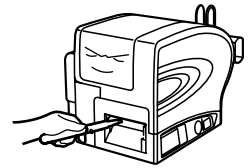
- **プラテンローラーが汚れていませんか？**
  → プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

- **サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？**
  → サーマルヘッドが汚れていたら、クリーニングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。

  ※金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。

  このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、「お手入れのしかた」（118ページ）をご覧になり、クリーニングペンでふき取ってください。

- **汚れた用紙を使っていませんか？**
  → きれいな用紙を使ってください。

- **本プリンタ用の“純正”用紙・カーボンリボンを使っていますか？**
  → サトー製プリンタには“純正”サプライのご使用をお願いします。

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

注意

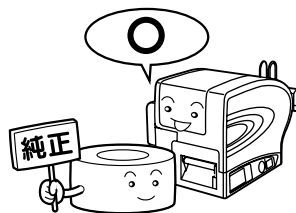
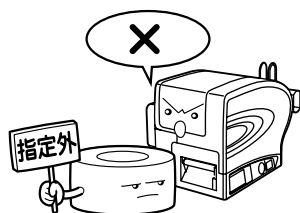
清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

印字位置がずれる

- **用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？**
  → 用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。
  また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。

- **プラテンローラーが汚れていませんか？**
  → プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

- **型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？**
  → 用紙·カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。

- **本プリンタ用の“純正”用紙・カーボンリボンを使っていますか？**
  → サトー製プリンタには“純正”サプライのご使用をお願いします。

- **ペーパーフィードローラーが汚れていませんか？**
  → ペーパーフィードローラーが汚れていたら、「お手入れのしかた」（118ページ）をご覧になり、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。

- **コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？**
  → コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

- **基点補正または、プロポーショナルピッチの内容がおかしくありませんか？**
  → 基点補正（56ページ）または、プロポーショナルピッチ（57ページ）の内容を設定し直してください。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

10. お手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字がきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*を使って定期的に清掃してください。

お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次のとおりです。

プリンタクリーニングセット*でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、ペーパーフィードローラー、リボンフィードローラー、排出ローラー、ペーパーガイド
  用紙 1 巻おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと

- その他
  用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

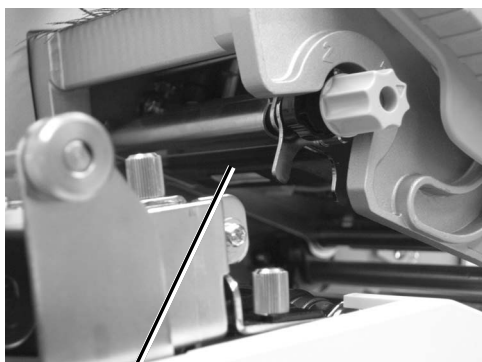
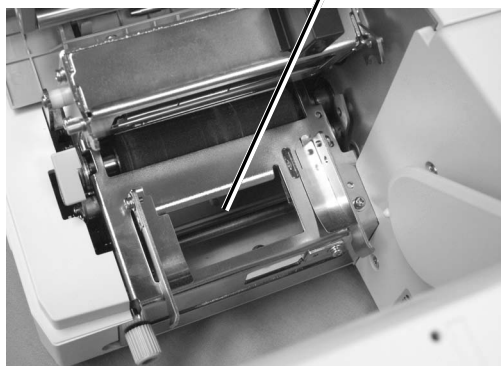
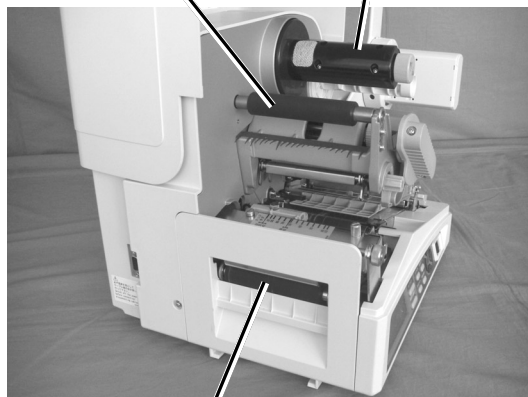
お手入れのときの注意

お手入れのときは、次のことに注意してください。

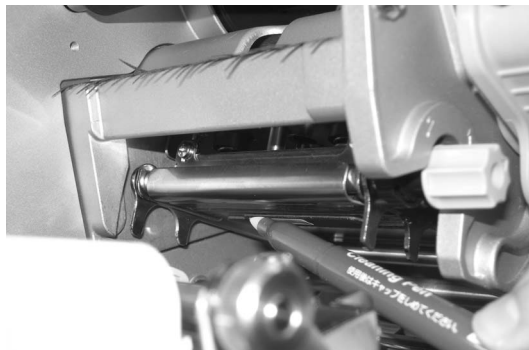
- 上記の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンや綿布をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってから清掃してください。
- 用紙・カーボンリボンは取り外してから清掃してください。

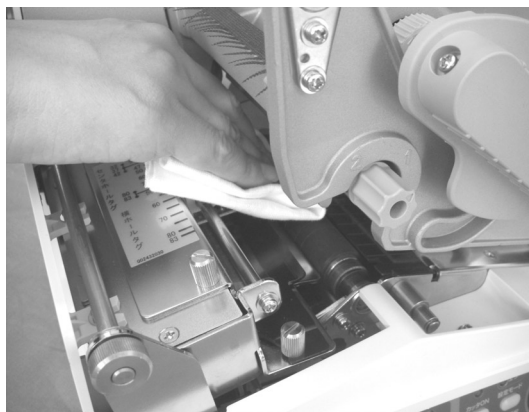
* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

お手入れのしかた

プリンタクリーニングセット*を使って、次の７か所を清掃してください。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

❶ カバー、サーマルヘッド部を開け、ヘッド部分を見えるようにします。

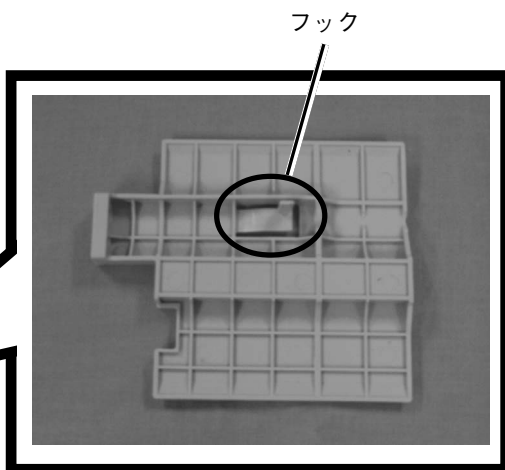
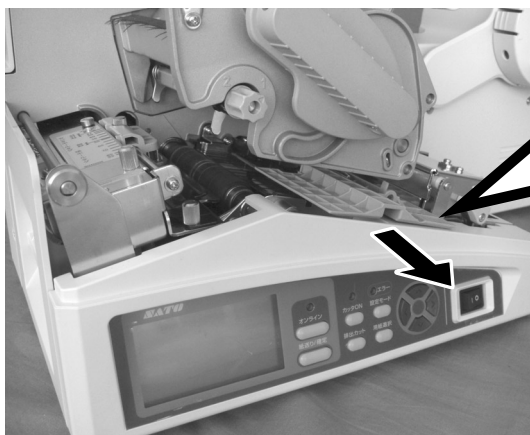
❷ クリーニングペンでサーマルヘッドの汚れを拭き取ります。

❸ プリンタ清掃液を綿布に浸して、プラテンローラーの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

❹ リッドラッチを開けます。

❺ プリンタ清掃液を綿布に浸して、ペーパーフィードローラーの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

❻ ペーパーガイドのフックを押してペーパーガイドを引き出します。

❼ プリンタ清掃液を綿布に浸して、ペーパーガイドの汚れを拭き取ります。

❽ プリンタ清掃液を綿布に浸して、排出ローラーの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

❾ プリンタ清掃液を綿布に浸して、リボンフィードローラーとリボン巻取リールの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

消耗品

消耗品には次の２種類があります。

- サーマルヘッド
- プラテンローラー
- カッタ部

消耗品の交換は購入された販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

11. 基本仕様

モデル名	SATOC ST308R	SATOC ST312R
印字方式	感熱方式／熱転写方式　兼用	
ヘッド密度（解像度）	8dot/mm（203dpi）	12dot/mm（305dpi）
印字有効エリア	最大 長さ240mm x 幅80mm	
印字速度	50～250mm/秒 2～10インチ／秒 注）ただし、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	ラベル 長さ方向　上：1.5mm、下：1.5mm（台紙含まず） 幅方向　左：1.5mm、右：1.5mm（台紙含まず） タグ 長さ方向　上：1.0mm、下：1.5mm 幅方向　左：1.5mm、右：1.5mm ホール　周辺1.5mm	
用紙種類／用紙形態	サトー"純正"用紙のご使用をお願いします。/ロール紙	
用紙厚	ラベル：140～265μm（0.14～0.265mm） タグ　：157～330μm（0.157～0.33mm） ※ RFIDタグへの対応は販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。	
用紙サイズ	連続発行 ラベル　長さ　：16～237mm（19～240mm） 幅　：22～80mm（25～83mm） タグ　長さ　：25～240mm 幅　：32～83mm カッタ ラベル　長さ　：22～237mm（25～240mm） 幅　：22～80mm（25～83mm） タグ　長さ　：25～240mm 幅　：32～83mm ※（　）は台紙サイズ 注）発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外径／支管サイズ	用紙外径：最大250mm（4インチ支管時） 支管内径：76.4mm（3インチ）、102mm（4インチ）	
リボン種類	サトー"純正"カーボンリボンのご使用をお願いします。	
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻方向	リボン長：　最大450m巻き リボン幅：　最大84mm 巻き方向：　表巻き（標準）、裏巻き 巻取り方式：　支管レス（標準）	
発行モード	連続、カッタ	
寸法／重量	幅284mmx奥行き552mmx高さ300mm/約16.2kg	

モデル名	SATOC ST308R	SATOC ST312R
電源仕様	入力電圧：AC100V〜240V±10%	
	消費電力（入力電圧条件：100V/50Hz） ピーク時： 132W /134VA（印字率30%） 待機時： 20W /22VA	
環境条件（温度／湿度）	使用温度：5〜40℃ 湿度：30〜80%RH（ただし、結露なきこと） 保存温度：-5〜60℃ 湿度：30〜90%RH（ただし、結露なきこと） ※ サプライ製品は除く	
インタフェース	1. 通信インタフェース（1スロット） 2. EXT（オプション機器用）コネクタ*1 3. RS-232C D-SUB9ピンタイプ（簡易入力装置Key-Bo専用）	
通信インタフェースボード（オプション）	1. USBインタフェースボード 2. RS-232Cインタフェースボード 3. パラレル（IEEE1284）インタフェースボード 4. LANインタフェースボード 5. 無線LANインタフェースボード	
オプション	1. 大型スタッカ（STS300） 2. 小型スタッカ（STS302） 3. ラベル巻取機（RWS300） 4. RFIDキット（出荷時オプション）（HF帯仕様、UHF帯仕様、μチップ仕様） 5. 簡易入力装置Key-Bo	
操作キー	LCD：グラフィックLCD（横128 x 縦64dot）サイドライト付き キー ：1. 電源 2. オンライン 3. 紙送り/確定 4. カッタON 5. 排出カット 6. 用紙選択 7. 方向キー： ◀ ▶ ▲ ▼ 8. 設定モード	
レベル調整	1. 印字位置調整 2. カット位置調整 3. 印字濃度調整	
用紙長検出センサ	1. アイマークセンサ（反射タイプ） 2. ギャップセンサ（センタホールセンサ兼用）（透過タイプ） 3. 横ホールセンサ 4. エッジセンサ 5. ジャンプホールセンサ	

＊1 スタッカ接続、ラベル巻取機接続
＊2 無線LAN IEEE802.11b/g
有線LANコネクタ付きとなります。ただし無線LAN/有線LANの併用はできません。

<table>
<tr><th>モデル名</th><th>SATOC ST308R</th><th>SATOC ST312R</th></tr>
<tr><td>バーコード</td><td colspan="2">UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、
GS1-128(UCC/EAN128)、CODABAR(NW-7)、
SATOC CODABAR(NW-7)、短縮CODABAR(NW-7)、ITF、
インダストリアル2of5、マトリックス2of5、
カスタマバーコード、UPCアドオンコード、
GS1 DataBar Omnidirectional、
GS1 DataBar Truncated、
GS1 DataBar Stacked、
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、
GS1 DataBar Limited、
GS1 DataBar Expanded、
GS1 DataBar Expanded Stacked
※ GS1 DataBarは、RSSのことです。</td></tr>
<tr><td>2次元コード</td><td colspan="2">QRコード、マイクロQR、PDF417、マイクロPDF、MAXIコード、
データマトリックス（ECC200）</td></tr>
<tr><td>合成シンボル</td><td colspan="2">EAN-13 Composite
EAN-8 Composite
UPC-A Composite
UPC-E Composite
GS1 DataBar Composite
GS1 DataBar Truncated Composite
GS1 DataBar Stacked Composite
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite
GS1 DataBar Limited Composite
GS1 DataBar Expanded Composite
GS1 DataBar Expanded Stacked Composite
GS1-128 Composite
※ GS1 DataBarは、RSSのことです。
※ GS1-128は、UCC/EAN128のことです。</td></tr>
</table>

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

モデル名			SATOC ST308R	SATOC ST312R
標準搭載フォント	ビットマップフォント	WB文字	18x30dot（英数字、記号、カナ）	
		WL文字	28x52dot（英数字、記号、カナ）	
		X1文字	20x50dot（英数字、記号、カナ）	30x75dot（英数字、記号、カナ）
		X2文字	8x12dot（英数字、記号、カナ）	12x30dot（英数字、記号、カナ）
		X3文字	13x21dot（英数字、記号、カナ）	20x32dot（英数字、記号、カナ）
		X70文字	32x48dot（数字、“$¥ー,”）斜体	
		X71文字	40x60dot（数字、“$¥ー,”）斜体	
		X72文字	48x72dot（数字、“$¥ー,”）斜体	
		X73文字	64x96dot（数字、“$¥ー,”）斜体	
		X74文字	32x48dot（数字、“$¥ー,”）標準	
		X75文字	40x60dot（数字、“$¥ー,”）標準	
		X76文字	48x72dot（数字、“$¥ー,”）標準	
		X77文字	64x96dot（数字、“$¥ー,”）標準	
		OCRーA文字	15x22dot（英数字、記号）	22x33dot（英数字、記号）
		OCRーB文字	20x24dot（英数字、記号）	30x36dot（英数字、記号）
		漢字	16x16dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可） 24x24dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可） ※日本語（JISX208準拠）	
	ラスタライザフォント		CG Times（英数字、記号） CG Triumvirate（英数字、記号） ゴシック（HG Gothic） 明朝（HG Mincho）	
	アウトラインフォント		英数字、記号、カナ、漢字	
印字方向（文字・バーコード）			文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1（0°）、パラレル2（180°）、シリアル1（90°）、シリアル2（270°）	
バーコード比率			1:2、1:3、2:5、任意指定可能	
拡大倍率（文字・バーコード）			文字：縦1～12倍、横1～12倍 バーコード：1～12倍	

<table>
<tr><th colspan="2">モデル名</th><th>SATOC ST308R</th><th>SATOC ST312R</th></tr>
<tr><td colspan="2">搭載機能</td><td colspan="2">1. ステータス返送機能
2. グラフィック機能
3. 連番機能
4. フォームオーバレイ機能
5. 外字登録機能
6. 白黒反転機能
7. 罫線機能
8. フォーマット登録機能
9. ゼロスラッシュ切替機能
10. JIS／シフトJIS切替機能
11. 仕分けマーク機能
12. 自動給紙機能（先頭無駄なし機能）
13. 排出カット機能
14. アイテムカット機能

自動給紙機能について
自動給紙をおこなうことにより、先頭のタグ/ラベルを無駄にすることなくヘッド位置まで搬送し、印字することができます。
自動給紙により先頭無駄なし機能が可能なタグ/ラベル最大用紙長さ（台紙を含む）を下記に示します。
下記サイズは、各用紙種類の初期値でご使用いただく場合の最大用紙長さです。
下記サイズ以上の場合や印字位置補正をおこなった場合、自動給紙は可能ですが、先頭に位置合わせ用のタグ/ラベルが排出されます。

<table><tr><th>用紙種類</th><th>最大用紙長さ</th></tr><tr><td>センタホールタグ</td><td>140mm</td></tr><tr><td>アイマークタグ/ラベル</td><td>65mm</td></tr><tr><td>横ホールタグ</td><td>200mm</td></tr><tr><td>エッジタグ</td><td>65mm</td></tr><tr><td>ギャップラベル</td><td>70mm</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">自己診断機能</td><td colspan="2">1. ヘッド断線チェック
2. ペーパーエンド検出
3. テスト印字
4. リボンエンド検出
5. リボンニアエンド検出
6. 漢字データチェック
7. ヘッドオープン
8. リッドラッチオープン
9. カッタエラー
10. スタックフル（スタッカオプション装着時）
11. 巻取フル（巻取機オプション装着時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ノイズ規格</td><td colspan="2">VCCI Class B</td></tr>
<tr><td rowspan="4">無線
規格</td><td>無線LAN(2.45GHz)</td><td colspan="2">電波法2.45GHz帯高度化小電力データ通信システムの認証</td></tr>
<tr><td>HF帯RFID</td><td colspan="2">電波法13.56MHz帯高度化小電力データ通信システムの認証</td></tr>
<tr><td>UHF帯RFID</td><td colspan="2">電波法950MHz帯高度化小電力データ通信システムの認証</td></tr>
<tr><td>2.45GHz RFID</td><td colspan="2">電波法2.45GHz帯高度化小電力データ通信システムの認証</td></tr>
</table>

12. アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。
保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から５年間です。
（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ http://www.sato.co.jp でご確認ください。）

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター･販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は１台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から６か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社"純正"サプライ品での走行距離 30km（カッタ 50 万回）または納入から６か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. **優先サポート**
   故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. **全国ネットワークでスピーディーな対応**
   全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. **予防定期点検の実施**
   定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼動、さらにシステム全体の安定稼動に寄与します。

4. **契約料金以外の費用が発生しません**
   最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. **豊富なバリエーション**
   お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、壊れる場合があります（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）。
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

索引

ア

イ

エ

オ

カ

キ

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ノ

ハ

フ

ヘ

ホ

マ

ム

メ

ヨ

ラ

リ

ロ